

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：システム推進課 担当者名：諏訪・藪崎・田中・高橋・林・藤岡

(単位:千円)

	6年度 A	5年度 B	増△減(A-B)
予算額	1,379,424	921,699	457,725

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
<b>1 パスモ2024年度施策(早期)</b>	81,473
<p>(1 事業目的・内容)</p> <p><b>【事業目的】</b> ICカード「PASMO」の機能改善等を他事業者と統一するためのシステム改修</p> <p><b>【内容】</b> パスモではお客様の利便性向上として、PASMOの利用範囲拡大やサービス向上に取り組んでいます。これに伴い、本市で設置しているパスモ対応機器のソフトウェア改造作業を行います。</p> <p><b>【作業完了予定】</b> 令和6年上期</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点) 改修内容の変更</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>(4 除却資産の有無) <span style="margin-left: 200px;">(5 補助対象の有無)</span></p> <p><input type="checkbox"/> 有 <span style="margin-left: 200px;"><input type="checkbox"/> 有</span>  <input checked="" type="checkbox"/> 無 <span style="margin-left: 200px;"><input checked="" type="checkbox"/> 無</span></p>	

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
<b>2 パスモ2024年度施策(年度末)</b>	223,600
<p>(1 事業目的・内容)</p> <p><b>【事業目的】</b> ICカード「PASMO」の機能改善等を他事業者と統一するためのシステム改修</p> <p><b>【内容】</b> パスモではお客様の利便性向上として、PASMOの利用範囲拡大やサービス向上に取り組んでいます。これに伴い、本市で設置しているパスモ対応機器のソフトウェア改造作業を行います。</p> <p><b>【作業完了予定】</b> 令和6年度末</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点) 改修内容の変更</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>(4 除却資産の有無) <span style="margin-left: 200px;">(5 補助対象の有無)</span></p> <p><input type="checkbox"/> 有 <span style="margin-left: 200px;"><input type="checkbox"/> 有</span>  <input checked="" type="checkbox"/> 無 <span style="margin-left: 200px;"><input checked="" type="checkbox"/> 無</span></p>	

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：システム推進課 担当者名：諏訪・藪崎・田中・高橋・林・藤岡

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	6年度予算額
<b>3 改札機IC処理ソフトウェア利用許諾契約に基づく個別改訂版ソフトウェアの支払契約</b>	33,100
(1 事業目的・内容) 【事業目的】 自動改札機でのPASMO、Suicaの利用環境の維持  【内容】 首都圏でのICカードの相互利用サービスに必要な自動改札機のソフトウェアに対し毎年行う改修について、機器設置台数分の利用許諾料を支出します。  【機器設置台数】 自動改札機 229台(模擬環境用の2台除く)	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無) <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	(5 補助対象の有無) <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	6年度予算額																					
<b>4 交通系ICカードチャージ機 51台の購入</b>	224,400																					
(1 事業目的・内容) 令和6年7月に発行予定の新紙幣に対応するためのICカードチャージ機を購入します。  機器納入予定時期:令和6年9月																						
(2 前年度から変更・見直した点)																						
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)																						
(4 除却資産の有無) <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	(5 補助対象の有無) <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無																					
(6 年次表)																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>5年度予算</th> <th>6年度予算</th> <th>7年度予定</th> <th>8年度予定</th> <th>9年度以降</th> <th>総 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td></td> <td>224,400</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>224,400</td> </tr> <tr> <td>債務負担設定</td> <td>291,900</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>291,900</td> </tr> </tbody> </table>		5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額	事業費		224,400				224,400	債務負担設定	291,900					291,900
	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額																
事業費		224,400				224,400																
債務負担設定	291,900					291,900																

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	6年度予算額
<b>5 新紙幣発行に伴う券売機等改修業務</b>	91,000
(1 事業目的・内容) 令和6年7月に発行が予定されている新紙幣に対応するため、対象となる自動券売機・自動精算機を改修します。	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無) <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	(5 補助対象の有無) <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：システム推進課 担当者名：諏訪・藪崎・田中・高橋・林・藤岡

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
<b>6 新紙幣発行に伴う定期券発行機等改修業務委託</b>	
(1 事業目的・内容) 令和6年7月に発行が予定されている新紙幣に対応するため、対象となる定期券発行機等(入出金機)を改修します。	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
<b>7 収入管理サーバ更新</b>	
(1 事業目的・内容) 各駅に設置されている自動券売機、自動精算機、チャージ機、自動改札機、窓口処理機、定期券発行機、などの駅務機器データや売上を集計している現行の収入管理サーバは平成30年度に更新しました。 設置後5年を経過し、老朽化しているため機器障害時の対応が困難となっております。 このため、機器を更新するとともに、ソフトウェアおよび蓄積データの移行を行います。	
<b>【目的】</b> ・機器障害時対応 ・現行機能維持	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)
<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
<b>8 集計装置更新</b>	
(1 事業目的・内容) 各駅に設置されている自動券売機、自動精算機、チャージ機、自動改札機、窓口処理機、定期券発行機、などの駅務機器データや売上を集計している現行の集計装置は平成30年度に更新しました。 設置後5年を経過し、老朽化しているため機器障害時の対応が困難となっております。 このため、機器を更新するとともに、ソフトウェアおよび蓄積データの移行を行います。	
<b>【目的】</b> ・機器障害時対応 ・現行機能維持	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)
<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：システム推進課 担当者名：諏訪・藪崎・田中・高橋・林・藤岡

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
<b>9 多目的デジタル案内板の更新</b>	
<p>(1) 事業目的・内容</p> <p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様の利便性向上</li> <li>・お客様への情報提供</li> <li>・駅係員の案内業務軽減</li> </ul> <p>【内容】</p> <p>多目的デジタル案内板は、市営交通の運行状況などをお客様にわかりやすく伝達する機器(デジタルサイネージ)です。当該機器は平成28年度より各駅に順次設置しており、設置から約6年経過している一部の機器を更新します。</p> <p>(2) 前年度から変更・見直した点) 更新対象台数の増</p> <p>(3) 根拠法令・規程、現場の意見等) モニタの汚れが目立つ</p> <p>(4) 除却資産の有無) (5) 補助対象の有無)</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 有                          <input type="checkbox"/> 有  <input type="checkbox"/> 無                          <input checked="" type="checkbox"/> 無 </p>	

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
<b>10 サーバ室無停電電源装置の更新</b>	
<p>(1) 事業目的・内容</p> <p>【事業目的】</p> <p>サーバ室には、YCAN(横浜市行政情報ネットワーク)システム、バスシステム、地下鉄システムのサーバが設置されており、これらのサーバは、バス事業と鉄道事業の運営の根幹を担っています。</p> <p>サーバ室に設置されている無停電電源装置は、大容量の電力をサーバに安定して供給するために、必要不可欠なものです。この無停電電源装置は、平成16年に設置されてから19年が経過(期待寿命15年)しているため、今後の安定動作が保証できません。これまで、部品単位での交換をして延命を図ってきましたが、主要部品は交換することができないため、今回更新をします。</p> <p>【内容】</p> <p>UPS本体 の更新 設置作業 システム停電対応作業</p> <p>(2) 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3) 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>(4) 除却資産の有無) (5) 補助対象の有無)</p> <p> <input type="checkbox"/> 有                          <input type="checkbox"/> 有  <input checked="" type="checkbox"/> 無                          <input checked="" type="checkbox"/> 無 </p>	

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：システム推進課 担当者名：諏訪・藪崎・田中・高橋・林・藤岡

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
<b>11 クレカタッチ対応に伴う改札機等改造</b>	158,400
<p>(1 事業目的・内容)</p> <p>【事業目的】 クレカタッチ対応改札機は、クレジットカードのタッチ決済機能を活用し、自動改札機の専用読み取り機にかざすことで、事前に乗車券を購入することなくスムーズに乗車・降車できるサービスです。 きっぷの購入やICカードへのチャージが必要ないため、沿線にお住まいの方だけでなく、外国人観光客や出張等で本市を訪れた方に対する利便性の向上をします。</p> <p>【内容】 ブルーラインとグリーンラインを合わせた全40駅で利用することができるようにします。 全駅の各改札口にあるワイド型入出場両用機1機に、専用読み取り機を設置します。 また、全駅の改札口の窓口に、窓口処理端末を設置します。</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>(4 除却資産の有無) <span style="margin-left: 200px;">(5 補助対象の有無)</span></p> <p><input type="checkbox"/> 有 <span style="margin-left: 200px;"><input type="checkbox"/> 有</span>  <input checked="" type="checkbox"/> 無 <span style="margin-left: 200px;"><input checked="" type="checkbox"/> 無</span></p>	

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
<b>12 事務改善システム仕様変更業務委託</b>	
<p>(1 事業目的・内容)</p> <p>【事業目的】 事務の効率化</p> <p>【内容】 人事給与・旅費管理・財務会計のシステムにおいて、制度改正等の改修を実施します。</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>(4 除却資産の有無) <span style="margin-left: 200px;">(5 補助対象の有無)</span></p> <p><input type="checkbox"/> 有 <span style="margin-left: 200px;"><input type="checkbox"/> 有</span>  <input checked="" type="checkbox"/> 無 <span style="margin-left: 200px;"><input checked="" type="checkbox"/> 無</span></p>	

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：システム推進課 担当者名：諏訪・藪崎・田中・高橋・林・藤岡

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
<b>13 入退室・監視カメラ管理システム更新</b>	
<p>(1 事業目的・内容)</p> <p>【事業目的】 老朽化した機器を更新します。</p> <p>【内容】 データ集計室の入退室システムの使用年数が9年を超えるため、更新します。</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点) 機器の状態等を考慮し、令和5年度は更新を見送りました。</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>(4 除却資産の有無) <span style="margin-left: 200px;">(5 補助対象の有無)</span></p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 有 <span style="margin-left: 150px;"><input type="checkbox"/> 有</span>  <input type="checkbox"/> 無 <span style="margin-left: 150px;"><input checked="" type="checkbox"/> 無</span></p>	

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
<b>14 緊急情報システム仕様変更業務委託</b>	
<p>(1 事業目的・内容)</p> <p>【事業目的】 バスや地下鉄の運行情報を発信している緊急情報システムについて、よりの確なお客様向けアナウンスや現場オペレーション改善のため改修を行います。</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>(4 除却資産の有無) <span style="margin-left: 200px;">(5 補助対象の有無)</span></p> <p><input type="checkbox"/> 有 <span style="margin-left: 150px;"><input type="checkbox"/> 有</span>  <input checked="" type="checkbox"/> 無 <span style="margin-left: 150px;"><input checked="" type="checkbox"/> 無</span></p>	

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：人事課 担当者名：小泉

(単位:千円)

	6年度 A	5年度 B	増△減(A-B)
予算額		0	

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
<p><b>1 反応速度検査器の更新</b></p> <p>(1 事業目的・内容)</p> <p>鉄道に関する技術上の基準を定める省令(平成13年国土交通省令第151号)第10条の規定に基づき、横浜市高速鉄道の運転等に 従事する者の適性検査に必要なため。 また、耐用年数5年を大幅に経過し、経年劣化がみられ、国の基準検査が実施できない影響があるため更新します。</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>鉄道に関する技術上の基準を定める省令 動力車操縦者運転免許に関する省令 横浜市交通局高速鉄道係員の適性検査に関する規程</p> <p>(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 有 (2001-20-00427)           <input type="checkbox"/> 有  <input type="checkbox"/> 無           <input checked="" type="checkbox"/> 無         </p>	

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：資産活用課 担当者名：濱田、寒川、梅谷、佐藤、大場、櫻井

(単位:千円)

	6年度 A	5年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	63,092	65,464	△ 2,372

(単位:千円)

【 事業内容 】	6年度予算額
1 蛍光灯看板のLED化業務委託	

## (1 事業目的・内容)

蛍光灯器具の製造が縮小傾向にあり、老朽化の対応がより困難になっていく蛍光灯看板をLED化します。  
令和6年度に対象とする駅は下飯田駅、立場駅、中田駅、踊場駅、蒔田駅、高島町駅、中川駅です。

## (背景等)

- ・LED化を進める政府方針に基づき、各メーカーでは蛍光灯器具及び蛍光灯の順次生産中止を打ち出しており、蛍光灯器具は生産を中止、蛍光灯も生産終了の品番が出るなど生産量は減少しています。
- ・蛍光灯看板は平成19年度のオープン化以後、交通局が維持管理を行っていますが、平成26年度は0件、平成27年度は1件程度だった不具合対応が、令和4年度には13件、令和5年度は9月時点で9件となっており、増加傾向にあります。
- ・器具調達の難さからくる修理対応の長期化や、不具合発生件数の増加により、広告商品本来の仕様を満たせない状態が続けば、市営交通広告の信頼低下に繋がり、広告契約の獲得・継続がより困難になることが予測されます。
- ・このため、電飾看板のLED化をしていない、かつ駅の改修工事等が予定されていない駅の中で、稼働中の看板数や広告料収入が高い7駅を選定し、LED化を実施します。

## (2 前年度から変更・見直した点)

不具合が多く、修繕に費用がかかることから、必要な看板を精査の上、早急にLED化を進めていきます。

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## (4 除却資産の有無)

有  
 無

## (5 補助対象の有無)

有 公営企業債(脱炭素化事業)対象事業  
 無

## (6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費	12,800					
債務負担設定						



令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：資産活用課 担当者名：濱田、寒川、梅谷、佐藤、大場、櫻井

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	6年度予算額
-------------	--------

2 広告管理システム改修

(1 事業目的・内容)

広告管理システムの機能を改善・追加することで、事務改善を図ります

・年度間調整機能の追加

(2 前年度から変更・見直した点)

サーバーOSの更新やクラウド化は令和5年度に実施済みなので、事業規模を縮小します。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有  
 無

(5 補助対象の有無)

有  
 無

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：安全教育センター 担当者名：坂井、浅田、山岸、小澤、岩澤

(単位:千円)

	6年度 A	5年度 B	増△減(A-B)
予算額	5,338	24,390	△ 19,052

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
1 SEA-331形主電動機カットモデル教材製作	
(1 事業目的・内容)	
<p>鉄道監督局通達「指定動力車操縦者養成所に対する指導基準」に基づき、動力車操縦者養成所に誘導電動機を展示していますが、電車のものではない古い電動機の展示となっています。</p> <p>上永谷修繕工場に保管されている廃棄予定の誘導電動機「SEA-331形(3000A形)」を譲り受けてカットモデル化し、現在展示されている誘導電動機から置き換えることで、運転士養成科の学科講習において、現行の電車に搭載されていた誘導電動機を用い、より理解度を高める教材とすることを目的とします。</p>	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)
<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：安全教育センター 担当者名：坂井、浅田、山岸、小澤、岩澤

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
<b>2 液晶モニター</b>	
(1 事業目的・内容)  教習で使用している投影機器の経年劣化により、解像度が低く資料が見えにくいため新たに大画面液晶モニターを購入します。	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：営業課(高速) 担当者名：大岡

(単位:千円)

	6年度 A	5年度 B	増△減(A-B)
予 算 額		1,250	

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	6年度予算額
1 駅案内所タブレット端末更新費	

(1 事業目的・内容)

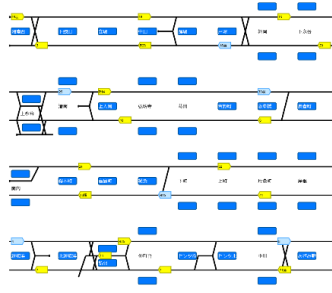
現在、一部駅の案内所では、タブレット端末を配置し、車いす介助や運行遅延時などのお客様対応の場面で活用しています。当該タブレット端末がOSのサポート期間満了を控えていること、また、経年劣化により日常業務に支障があることから、タブレット端末を更新します。また、全案内所で統一的なお客様対応を行うために、追加でタブレット端末を購入し、現在、未配置の案内所にタブレット端末を配置します。

【使用用途】

- ・車いすをご利用のお客様の乗車情報を確実に降車駅へ伝達するために、地下鉄運行ポータルに諸情報を登録する
- ・在線表示を活用して運行状況の確認及び運行遅延・異常時のお客様案内を行う
- ・インターネットを活用して他社線運行状況、振替輸送状況を確認し、お客様からの問合せに対応する



(車いす情報新規登録画面)



(在線表示画面)

【現状の課題】

- ・OSのサポート期間が令和7年10月をもって満了する
- ・経年劣化による故障の頻発で、安定的なお客様サービスの提供に支障がある
- ・ブルーライン及びグリーンラインの案内所全47か所のうち、16か所の案内所にはタブレット端末が未配置のため、統一的なお客様対応ができない

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有  
 無

有  
 無

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：運転課 担当者名：川畑

(単位：千円)

	6年度 A	5年度 B	増△減(A-B)
予算額		1,188	

(単位：千円)

【事業内容】	6年度予算額
<b>1 ダイヤ作成装置改修</b>	
<p>(1 事業目的・内容)  ダイヤの作成及び運行の管理にダイヤ作成装置を2台設置していますが、現在1台が故障し使用することができません。  残りの1台も故障した場合、ダイヤ改正等の業務に支障が生じるため、新たに2台を発注しそれに合わせて機能の改修を行います。</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>(4 除却資産の有無) <span style="margin-left: 200px;">(5 補助対象の有無)</span></p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 有 <span style="margin-left: 200px;"><input type="checkbox"/> 有</span>  <input type="checkbox"/> 無 <span style="margin-left: 200px;"><input checked="" type="checkbox"/> 無</span> </p>	

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：駅務管理所 担当者名：村川・弓野・関・伊藤

(単位:千円)

	6年度 A	5年度 B	増△減(A-B)
予算額	14,738	4,416	10,322

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額																		
<b>1 空気呼吸器更新</b>																			
<p>(1 事業目的・内容)</p> <p>現在配備中の空気呼吸器の多数が、メーカーの修理基準(15年)を経過しており、1年に1回の定期点検で不具合があった場合、修理ができないため、一定数ずつ更新します。</p> <table border="0"> <tr> <td>【空気呼吸器本体】</td> <td>【高圧空気容器】</td> </tr> <tr> <td>1998年製・・・8台</td> <td>1992年製・・・8本</td> </tr> <tr> <td>2000年製・・・9台</td> <td>1998年製・・・12本</td> </tr> <tr> <td>2001年製・・・23台</td> <td>1999年製・・・1本</td> </tr> <tr> <td>2002年製・・・6台</td> <td>2000年製・・・1本</td> </tr> <tr> <td>2003年製・・・1台</td> <td>2001年製・・・47本</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2002年製・・・9本</td> </tr> </table> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等) 平成14年3月8日付国鉄技第157号「鉄道に関する技術上の基準を定める省令等の解釈基準」別冊1「鉄道に関する技術上の基準を定める省令の解釈基準」</p> <p>(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)</p> <table border="0"> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 有</td> <td><input type="checkbox"/> 有</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 無</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 無</td> </tr> </table>		【空気呼吸器本体】	【高圧空気容器】	1998年製・・・8台	1992年製・・・8本	2000年製・・・9台	1998年製・・・12本	2001年製・・・23台	1999年製・・・1本	2002年製・・・6台	2000年製・・・1本	2003年製・・・1台	2001年製・・・47本		2002年製・・・9本	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 無
【空気呼吸器本体】	【高圧空気容器】																		
1998年製・・・8台	1992年製・・・8本																		
2000年製・・・9台	1998年製・・・12本																		
2001年製・・・23台	1999年製・・・1本																		
2002年製・・・6台	2000年製・・・1本																		
2003年製・・・1台	2001年製・・・47本																		
	2002年製・・・9本																		
<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 有																		
<input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 無																		

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額				
<b>2 防犯カメラ設置</b>					
<p>(1 事業目的・内容)</p> <p>駅事務所内に設置している金庫及び女性施設への防犯対策として防犯カメラを設置します。6年度の設置駅は、各管区駅とします。その他の駅については、効果を検証した上で、順次設置を検討してまいります。</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)</p> <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 有</td> <td><input type="checkbox"/> 有</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 無</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 無</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 有				
<input checked="" type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 無				

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：駅務管理所 担当者名：村川・弓野・関・伊藤

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
<b>3 ワイヤレスマイク更新</b>	
(1 事業目的・内容)	
<p>旅客案内用にコンコース及びホームで使用するワイヤレスマイクの購入。 2021年3月をもってメーカーの保守が終了し、 修理不能になったタムラ製マイク(WTH-3210)のうちの一部を代替として新規購入します。</p>	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
<b>4 地下鉄各駅設置 金庫更新</b>	
(1 事業目的・内容)	
<p>地下鉄各駅に設置されている金庫について、経年劣化により不具合が生じるケースが多くなりその都度修理を依頼していますが、すでにメーカー側の保守が終了している金庫もあるので、修理不能になった場合に金庫を新規購入します。</p> <p>令和4年度 新横浜駅 令和5年度 横浜駅</p>	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)
<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：駅務管理所 担当者名：村川・弓野・関・伊藤

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
<b>5 電気式給湯器 更新</b>	
(1 事業目的・内容)	
<p>地下鉄の地上駅以外は、電気式給湯器を使用し温水の供給をしています。 電気式給湯器が経年劣化により故障した際に代替品を購入するため、購入費用を計上します。</p>	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
<b>6 紙幣計数機 更新</b>	
(1 事業目的・内容)	
<p>令和6年7月以降に新紙幣(千円札・五千円札・一万円札)の流通が開始されると、平成24年度に購入した紙幣計数機(5管区で稼働)が既にメーカー側の保守期間が終了しているため新紙幣を選別することが出来ません。 金銭の締め作業を行う管区なので紙幣を計算することが多いため、新紙幣の選別機能を有する紙幣計数機を購入します。</p> <p>対象管区:センター北・新横浜・横浜・上大岡・戸塚</p>	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
<p>現場からは選別機能を有する紙幣計数機の更新を望む意見あり。</p>	
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無



## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：駅務管理所 担当者名：村川・弓野・関・伊藤

(単位：千円)

【事業内容】	6年度予算額
<b>7 遺失物センター(仮称) 新設</b>	
<b>(1 事業目的・内容)</b> <p>令和6年4月から、各駅で対応していた旅客からの遺失物の問い合わせを、集約して駅務管理所内に設置する「遺失物センター(仮称)」で業務を行うため、新たに業務で必要となる机・書棚類を購入します。</p> <p>遺失物への問い合わせ業務を集約することにより、駅での問い合わせ業務の軽減化及び利用者へのサービス向上を図ります。</p>	
<b>(2 前年度から変更・見直した点)</b>	
<b>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</b>	
<b>(4 除却資産の有無)</b>	<b>(5 補助対象の有無)</b>
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：佐田東・小森

(単位:千円)

	6年度 A	5年度 B	増△減(A-B)
予算額	4,051,463	5,819,449	△ 1,767,986

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
1 10000形機器更新	216,122

## (1 事業目的・内容)

## ①劣化対策

10000形1次車は平成20年の竣工から10年以上が経過しており、各種搭載機器の劣化が進んでいます。近年電子部品の劣化による故障が頻発しているため、列車の安全運行のためには搭載機器の更新は必須となります。

## ②6両化準備対応

令和4年度からの10000形車両6両化において、増備する中間車両に搭載する機器の中には、現在車両に搭載されている機器と編成内で混在できない物があります。そのため、あらかじめ本事業で既存車の機器を、増備する予定の中間車と同一の物に更新しておく必要があります。

## ③バリアフリー対応

平成30年3月に、公共交通機関を利用する高齢者や障害者等の利便性、快適性に配慮する場合の施設、車両等の整備のあり方を示した“公共交通機関の車両等に関する移動等円滑化整備ガイドライン(バリアフリー整備ガイドライン)”が改訂されました。新しいガイドラインに沿ったバリアフリー対応によるお客様満足度向上を目的として、電気品及び内装品の改修を行います。

## ④インバウンド対応

インバウンド対応として、車内案内表示器の表示内容のうち駅ナンバーや他社線記号の追加、英語表記の見直し等を行います。

## ⑤更新計画&lt;6ヶ年契約&gt;

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1次車 (VVVF,SIV,ATC/O,ブレーキ,ITV)	発注のみ	9編成	6編成			
1次車 (YTM,車内・車外案内表示装置)		2編成	4編成	3編成	2編成	4編成
2次車 ITV・主幹制御器			1編成	1編成		
予備品購入		一式				

## ⑥主な更新機器

- ・VVVF(主回路制御装置)
- ・SIV(補助電源装置)
- ・ATC(自動列車制御装置)
- ・ATO(自動列車運転装置)
- ・ブレーキ電気品
- ・YTM(列車制御管理装置)
- ・車内案内表示装置
- ・車外案内表示装置
- ・ITV(対列車画像伝送装置)

## (2 前年度から変更・見直した点)

なし

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

竣工から10年以上が経過し、各種搭載機器の劣化が進んでいます。近年電子部品の劣化による故障が頻発しているため更新が必要。6両化準備として、必要な機器の更新も含まれます。  
公共交通機関の車両等に関する移動等円滑化整備ガイドライン

## (4 除却資産の有無)

 有  
 無

## (5 補助対象の有無)

 有  
 無

## (6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費	141,225	216,122				357,347
債務負担設定						



## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：佐田東・小森

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
<b>3 3000N形車両電気品更新</b>	1,142,000

## (1) 事業目的・内容

3000N形は、1998年に7編成(42両)が製造され、現在6編成(1編成は踊り場駅構内衝突事故により廃車)が運用されています。当該車両は2023年で製造から25年経過するため、当初、車両の新造又は大規模改修をR7年度から計画していましたが、当局の経営状況等を踏まえ、主要電機機器の更新を主体とした更新の方針変更しR4年度から実施するものです。

## ①工程

年度	R5	R6	R7
更新計画	更新	更新	更新
	6編成		

## ②更新範囲(予定)

- |                |                |          |       |
|----------------|----------------|----------|-------|
| ・ATC(自動列車制御装置) | ・ATO(自動列車運転装置) | ・ブレーキ電気品 | ・空調装置 |
| ・VVVF(主回路制御装置) | ・SIV(補助電源装置)   | ・案内表示装置  | ・放送設備 |
| ・IR(列車無線装置)    | ・列車モニタ         |          |       |
| ・その他           |                |          |       |

(2) 前年度から変更・見直した点  
なし

## (3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・車両安全確保のため
- ・車両老朽化や電機品の製造終了に対応するため
- ・更新とすることで至近の費用支出を抑制するため

## (4) 除却資産の有無)

- 有  
 無

## (5) 補助対象の有無)

- 有  
 無

## (6) 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費	970,000	1,142,000				
債務負担設定						

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：佐田東・小森

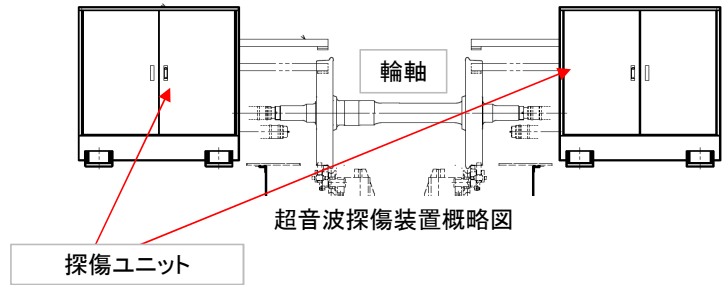
(単位：千円)

【事業内容】	6年度予算額
4 上永谷修繕工場超音波探傷装置更新	0

(1 事業目的・内容)

超音波探傷装置は、3000形車両の輪軸に傷等が発生していないかを確認する装置です。  
 ブルーライン車両の全重検にて使用しています。本事業は、老朽化した超音波探傷装置を更新するものです。  
 当該装置は、製造から約17年経過し、各部の劣化により不具合が毎年発生しており、都度の修理対応を行っています。  
 特に制御部はOSIにwindows2000を使用しており、このPCに不具合が発生した場合、代替部品が入手できないため、修理対応ができず、また、当該設備の製造業者は事業を撤退しており、今後の修理等の継続的な保守ができません。  
 故障・修理中は使用できないため、軸に亀裂がないかどうかの確認ができず、検査(全重)が停止し、運用を確保することができません。  
 また新重要部保全検査を申請するためには軸の垂直探傷、局部探傷をすることが条件のひとつであり、横浜市交で使用している軸の専用プログラムを施した超音波探傷装置が必要です。上記の理由から、超音波探傷装置の更新を行います。

- ・2005年度設置
- ・全重検委託業務貸与設備



(2 前年度から変更・見直した点)

工期見直し

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

故障発生により、適正な検査を実施することができない場合、車両を検査から出場させることができず、運用確保ができません。

(4 除却資産の有無)

- 有
- 無

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定	66,000					

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：佐田東・小森

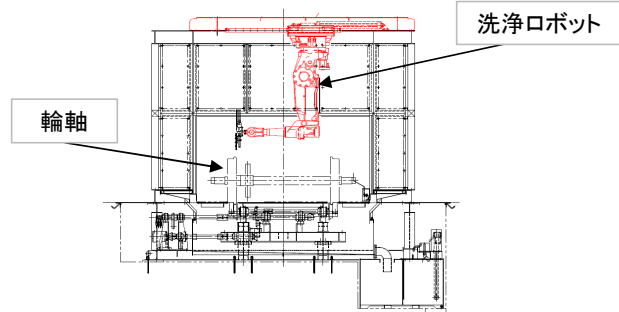
(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
5 上永谷修繕工場輪軸洗浄装置更新	47,520

(1 事業目的・内容)

輪軸洗浄装置は全重検等で、輪軸の超音波探傷を行う前に輪軸の洗浄を行う装置です。  
 本事業は経年劣化した輪軸洗浄装置を部分更新するものです。  
 当該装置は製造から約17年が経過しており各部の劣化により不具合が発生。都度の修理対応を行っています。  
 装置のメインとなる洗浄ロボット本体及び制御部がともに生産を終了しており、故障発生時に修繕等が実施できません。  
 そのため、生産終了品の現行品への置き換え及び経年劣化が発生している各種センサ類や可動部の部品交換を行います。  
 コスト削減のため、装置の全面更新ではなく、利用できる部分の再利用をできるだけ行った部分更新を行います。  
 主に、可動部・センサ類、メインとなる洗浄ロボットを新品へ更新します。

- ・2005年度設置
- ・全重検委託業務貸与設備



輪軸洗浄装置本体概略図

(2 前年度から変更・見直した点)

年度別予算額見直し(一括完成払いに変更)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

洗浄後、超音波探傷を行うため、事前作業に必須の装置です。

(4 除却資産の有無)

- 有
- 無

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費	19,008	47,520				66,528
債務負担設定	28,512					28,512

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：佐田東・小森

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
6 上永谷修繕工場台車洗浄装置	0

(1 事業目的・内容)

台車洗浄装置は、車両点検時に取外した台車枠等を洗浄するものであり、次工程へ移行する前処理に使用しています。設置から約29年経過し、劣化によるエア漏れや圧力計等の動作不良、モータポンプの破損等の不具合が多く発生しています。台車洗浄装置が故障して使用できない場合、台車枠等を洗浄できず次工程に進めないため、車両検査が中断となることから装置の更新が必要です。設置は1994年(H6)から29年経過。



(2 前年度から変更・見直した点)

年度別予算額見直し(一括完成払いに変更)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・車両整備維持のため
- ・車両安全維持のため
- ・車両環境維持のため

(4 除却資産の有無)

有  
 無

(5 補助対象の有無)

有  
 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：佐田東・小森

(単位:千円)

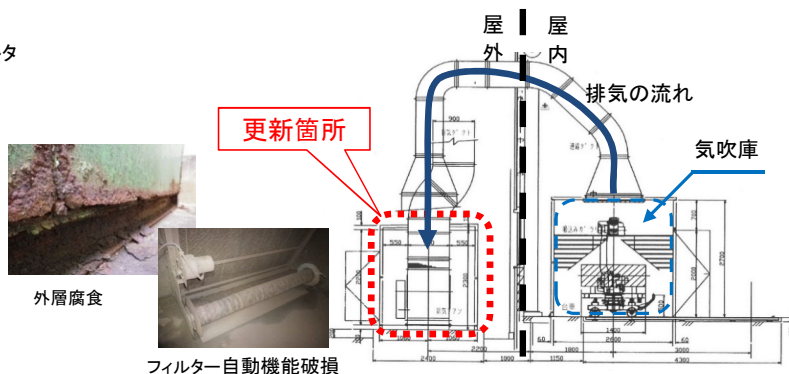
【事業内容】	6年度予算額
<b>7 上永谷修繕工場粉塵廃棄処理装置</b>	<b>40,323</b>

(1 事業目的・内容)

粉塵廃棄処理装置は、主電動機及びコンプレッサーの点検整備で気吹清掃した際に出たゴミや粉塵を排気ファンとフィルターで集塵し、除塵した空気を屋外に排気するものです。現在劣化が進行し、装置本体の腐食や装置内フィルターの自動機能破損等が発生しており、部分的な更新が必要です。設置は2005年(H17)から17年経過、途中ケーシング部分補強実施。

更新単位は以下。

- ・排気チャンパーケーシング
- ・ケーシング内 排気ファン、ロールフィルタ



(2 前年度から変更・見直した点)  
なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)  
・環境維持のため  
・車両整備維持のため

(4 除却資産の有無)

- 有  
 無

(5 補助対象の有無)

- 有  
 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費	10,000	40,323				50,323
債務負担設定	13,650					13,650



## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：佐田東・小森

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
8 上永谷車両基地車体洗浄装置	68,900

## (1) 事業目的・内容)

車体洗浄機は、列車が通過しながら車体外面を自動で洗浄する装置です。定期的に年次点検を実施しており部品交換も実施していますが、容易に交換できない部位は劣化や摩耗が発生しており修繕が必要です。設置は1993年(H5)から30年経過。

更新単位は以下。

- ・ブラシ回転モーター、回転ブラシ、エアチューブ、給水ポンプ(配管含む)、洗浄ポンプ
- ・シーケンサー



## (2) 前年度から変更・見直した点)

なし

## (3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・車両美観維持のため
- ・装置全体で劣化が進行しているため

## (4) 除却資産の有無)

- 有  
 無

## (5) 補助対象の有無)

- 有  
 無

## (6) 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費		68,900				68,900
債務負担設定	137,500					137,500

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：佐田東・小森

(単位：千円)

【事業内容】	6年度予算額
9 上永谷検車区列車無線装置試験機	0

(1 事業目的・内容)

列車無線試験機は、重要部・全般保全検査等で列車無線機の試験で使用しています。現在、上永谷・新羽検車区に各1台ありますが、試験機の故障や年次点検でメーカーへ持ち出すことがあり、この期間は故障対応の初動が遅れ運用に支障をきたす恐れがあります。このため、列車無線試験機1組を購入し試験体制の強化を図ります。  
 なお、現行品の内部部品廃盤等により、同一品の生産不可のため、新規設計による製作となります。(納期26箇月)  
 既設品が完全故障となった場合も代替品が容易に入手できないため、新規製作の着手が必要です。



(2 前年度から変更・見直した点)

なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・車両性能維持のため
- ・車両安全維持のため

(4 除却資産の有無)

- 有  
 無

(5 補助対象の有無)

- 有  
 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：佐田東・小森

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
10 川和車両基地LIMギャップ測定装置	37,000

## (1) 事業目的・内容)

LIMギャップ測定装置は、地上に設置したLIMギャップセンサ(レーザーセンサ)の上部を車両が通過する時に、基準面より車両に取り付けられたLIM(リニアモーター)下面までの距離(LIMギャップ)を自動的に測定し、その結果を蓄積管理、表示する装置です。  
LIMギャップ検出用のセンサは、川和車両基地の列検線、月検線の2か所に設置されており、各線に入出庫する車両のLIMギャップを自動に測定します。  
GL開業2008年3月の開業から現在までの14年間使用されています。2020年の年次点検時には、保守委託業者から、PCの保守期限超過、センサ類等の電機品の交換予定時期の超過、メーカー製造中止品が多く、現行品への新品交換ができない状況でありシステム全体としての更新時期を迎えている、と報告が上がっており LIMギャップ測定装置の更新が必要です。

## (2) 前年度から変更・見直した点)

年度ごとの予算見直し

## (3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道車両実施基準及び整備要領にて各種検査時にリニアモーターの高さを測定を実施しなければなりません。そのために必要な測定装置であり、不具合発生時に交換部品が調達できない現状では、復旧できず検査に大きな支障が発生します。また、日常におけるリニアモーターの高さ管理にも支障が発生し、安全な運行にも影響を及ぼすこととなります。

## (4) 除却資産の有無)

有  
 無

## (5) 補助対象の有無)

有  
 無

## (6) 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費	20,000	37,000				57,000
債務負担設定	30,000					30,000

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：佐田東・小森

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
11 WTO対応仕様書作成	272,500

## (1) 事業目的・内容)

鉄道事業者が行う一部の調達については国際調達の対象外とされてきましたが、2020年2月以降EUをはじめとする海外事業者の競争入札参加が可能になりました。これまで車両調達は国内の製造メーカーに限り入札を実施してきており、海外事業者の参入の可能性が生じたことに伴い、今後の車両・部品調達のため、国際調達への対応を検討する必要があります。

本事業は車両・部品調達で使用してきた日本産業規格(JIS)をはじめ、車両仕様に係る内容精査と見直しを行うことで、国際調達となった場合においても入札及び契約後の車両・部品調達事業を円滑に進めるために実施するものです。

## 工程

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9
仕様書A	計画	契約	納入			
仕様書B 他		計画	契約 納入			

## (2) 前年度から変更・見直した点)

仕様書作成を分割発注とし、一部を令和6年度予算へ参入

## (3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

EPA及びWTO政府調達協定

国際調達手続き対応のため

車両仕様及び技術規格の見直しと精査のため

## (4) 除却資産の有無)

有  
 無

## (5) 補助対象の有無)

有  
 無

## (6) 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費		272,500				272,500
債務負担設定	302,500					302,500



## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：佐田東・小森

(単位:千円)

## 【事業内容】

6年度予算額

## 13 ブルーライン車内防犯カメラ設置

## (1 事業目的・内容)

列車内でお客様の安全を脅かす事件が相次いで発生しており、車内安全強化のため、2022年より運用を開始したブルーライン4000形車両に車内防犯カメラの導入をおこないました。地下鉄車内の更なる防犯対策強化のため、既存車両への設置・拡大について、試行導入を行い検討・実施します。

## ・更新計画

	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
3000N (6編成)	試行導入の実施	既存車への設置 → → → → → →		
3000R (14編成)				
3000S (6編成)				
3000V (1編成)				
4000 (8編成)	全車導入完了	更新の検討	→ → → → → →	

①3000A形は対象外とします。

②防犯カメラタイプはリアルタイムカメラを採用します。

## (2 前年度から変更・見直した点)

なし

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

令和3年8月の小田急線、10月の京王線車内で発生した傷害事件を受け、各種非常用設備の表示の共通化、車内における防犯関係設備の充実に向けた議論が行われ、その中で他人に危害を及ぼすおそれのある行為などを抑止する効果を高めるために車内防犯カメラの設置を義務付ける規程の改正が検討され、令和5年10月に規程の一部が改正されます。

①適用範囲 新幹線の車両又は輸送密度10万人以上の線区を走行する車両

⇒横浜市交通局では、高速鉄道1・3号線(ブルーライン)該当

②適用車両 省令の施行の日前に製造に係る契約が結ばれた車両については、車内防犯カメラの設置義務付けの適用対象外とする。

⇒横浜市交通局では、今後契約するブルーライン車両が設置義務に該当

## (4 除却資産の有無)

 有  
 無

## (5 補助対象の有無)

 有  
 無

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：佐田東・小森

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
14 10000形2次車機器更新	0

(1) 事業目的・内容

10000形2次車は平成25年度(2013)の製造からの期間経過により各種搭載機器の劣化が進んでいます。近年電子部品の劣化による故障が頻発しているため、列車の安全運行のためには搭載機器の更新が必要です。全般・重要部検査と同じタイミングで実施します。

更新計画

- ・令和6年度(2024) 契約
- ・令和7年度(2025) 製造
- ・令和8年度(2026) 第17編成施工
- ・令和9年度(2027) 第16編成施工

更新対象装置

- ・VVVF(主回路制御装置)
- ・SIV(補助電源装置)
- ・ATC(自動列車制御装置)
- ・デジタルサイネージ装置
- ・ATO(自動列車運転装置)
- ・ブレーキ電気品
- ・YTM(列車制御管理装置)
- ・車内案内表示装置
- ・車外案内表示装置
- ・ITV(対列車画像伝送装置)

(2) 前年度から変更・見直した点

なし

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等

各種搭載機器の劣化が進んでいます。近年電子部品の劣化による故障が頻発しているため更新が必要。

(4) 除却資産の有無

- 有
- 無

(5) 補助対象の有無

- 有
- 無

(6) 年次表

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：佐田東・小森

(単位：千円)

【事業内容】	6年度予算額
15 ブルーライン車両管理・運用管理システム更新	0

(1) 事業目的・内容

車両管理システムはサーバを利用したシステム構成により、サーバ上にデータベースを構築し車両データ(車両走行キロ等)を一括管理しています。サーバ装置及び端末装置は納入から16年が経過しており、修理対応が出来なくなっております。運用管理システムは定期検査の計画および日々の運用計画を作成し、ネットワークにて各所(上永谷・新羽車両基地)とデータの共有をおこなっています。サーバ装置及び端末装置は納入から7年経過しており、故障・不具合が多く発生しています。両システムは車両運用維持のため更新が必要です。更新についてはサーバ装置、端末装置を共通化する事が可能であるためトータルコストの低減から共通化させた更新を行います。

・システム更新

《既設》

(1)車両管理システム

1	サーバ装置	上永谷検車区
2	端末装置	上永谷検車区
3	端末装置	修繕工場
4	端末装置	車両課



《更新後》

(1)車両・運用管理システム共通

1	サーバ装置	上永谷検車区
2	端末装置	上永谷検車区
3	端末装置	上永谷基地信
4	端末装置	修繕工場
5	端末装置	車両課
6	端末装置	新羽検車区
7	端末装置	新羽基地信

・サーバ装置  
2台→1台  
・端末装置  
7台→6台

(2)運用管理システム

1	サーバ装置	上永谷検車区
2	端末装置	上永谷検車区
3	端末装置	上永谷基地信
4	端末装置	新羽検車区
5	端末装置	新羽基地信

・更新計画

令和6年度 契約/仕様調整・調達/製作  
令和7年度 納品

・費用比較:単位 千円

車両管理システム更新	
運用管理システム更新	

車両管理・運用管理システム共通更新	
-------------------	--

(2) 前年度から変更・見直した点

なし

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

・車両運用維持のため

(4) 除却資産の有無)

有  
 無

(5) 補助対象の有無)

有  
 無

(6) 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						



## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：佐田東・小森

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
16 上永谷修繕工場スタックークレーン更新	0

## (1) 事業目的・内容

本スタックークレーンは、上永谷修繕工場の予備部品や材料の保管に使用している第三倉庫立体格納庫に設置してあります。2023年1月、クレーンを動かす制御盤等が故障し、部品の製造終了により修理不可能な状態です。倉庫に保管されている機器の取り出しもできず、必要なタイミング(車両故障等)に必要な機器の交換ができない可能性があります。

車両の適切な整備体制の確保及び資産の有効活用のため、部分更新(制御盤等)を行います。併せて、「労働安全衛生法」「機械の包括的な安全基準に関する指針」「JIS安全規格」に基づいた安全対策を施します。

・平成16年(2004年)設置 設置から19年

## ・倉庫保管機器

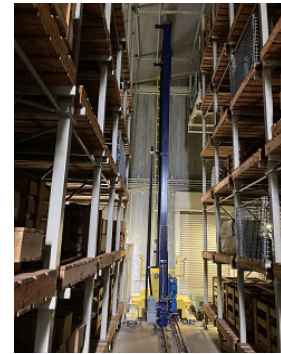
高圧補助機器箱、台中継弁箱、板バネ、軸箱体、基礎ブレーキ装置(M)  
ブレーキ装置、ブレーキテコ、制輪子ツリ 台ワク内外側、ツリアイテコ  
モノリンク組立、設置スイッチ箱、軸箱コロ軸受、軸箱コロ軸受 など

## ・倉庫仕様

縦6段、横14区画の棚を2列配置(合計168区画)

## ・保管状況

1, 2F: 定期的に入場で使用する部材を保管  
3~6F: 使用頻度が少ない部材(周期的に交換しない、異常時のみ交換)を保管



## (2) 前年度から変更・見直した点

なし

## (3) 根拠法令・規程、現場の意見等

・職員の安全確保  
・立体格納庫の健全化

## (4) 除却資産の有無

有  
 無

## (5) 補助対象の有無

有  
 無

## (6) 年次表

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						



令和6年度 建設改良費 事業計画書

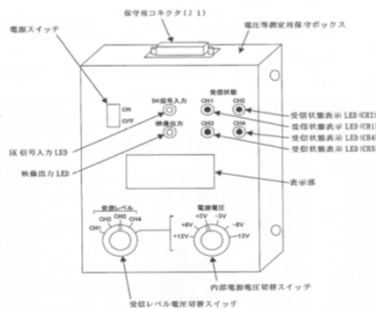
予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：佐田東・小森

(単位:千円)

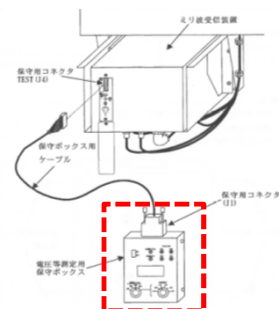
【事業内容】	6年度予算額
18 ミリ波受信装置試験器保守ボックス購入	0

(1 事業目的・内容)

ミリ波受信装置は乗務員が車両ドアの開閉に際して、乗降客の安全を確保するため、ホーム映像を運転室のモニタ画面に表示するシステムです。故障処置や保守点検において電圧や受信レベルを検査する際に試験器保守ボックスを使用する必要があります。当該試験器は、予備品が無く上永谷検車区の1台で対応しているため故障時の対応、機器校正をおこなう事が出来ないため、予備品の購入が必要です。



・ミリ波受信装置保守ボックス



・ミリ波受信装置との接続状態

- ・前年度(R4年度)故障履歴  
故障件数 6件(上永谷対応4件、新羽対応2件)  
車両交換 3件(上永谷基地入区2件、新羽基地入区1件)

- ・スケジュール  
令和6年度 契約・製造(30カ月)  
令和7年度 製造  
令和8年度 納品

(2 前年度から変更・見直した点)  
なし

- (3 根拠法令・規程、現場の意見等)
- ・車両性能維持のため
  - ・車両安全維持のため

(4 除却資産の有無)

- 有  
 無

(5 補助対象の有無)

- 有  
 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：佐困東・小森

(単位：千円)

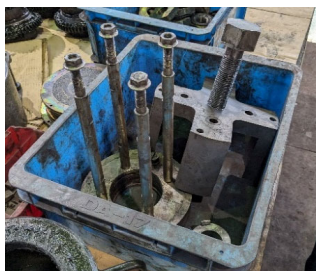
【 事 業 内 容 】	6年度予算額
<b>19 3000V・4000形主電動機軸受取外し専用工具購入</b>	

(1 事業目的・内容)

主電動機軸受け脱着工具は主電動機軸受を取外す際に使用する工具です。  
 全般検査の作業では、主電動機を取り外し分解整備するため、取外し工具が必要です。  
 他形式車両の工具とは形状が異なるため、専用工具を新規購入する必要があり、R7年2月に3000V形が入場するのに合わせて3000V形・4000形共通の工具を購入します。

購入工具一覧

- (1) コロ軸受外輪抜き工具
- (2) コロ軸受内輪及び軸受止め抜き工具
- (3) 玉軸受抜き工具
- (4) 玉軸受箱抜き工具



(2 前年度から変更・見直した点)  
なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)  
 ・車両安全維持のため  
 ・車両運用維持のため

(4 除却資産の有無)

有  
 無

(5 補助対象の有無)

有  
 無

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：佐田東・小森

(単位：千円)

【事業内容】	6年度予算額
20 10000形車両列車無線装置更新	0

(1 事業目的・内容)

グリーンラインでは、発報機能の2重化として携帯防護無線機を携行して運行しています。この携帯防護無線機が、現行無線方式では製造できなくなったこと(修理対応不可)、及び地上装置の老朽化が進んでいることから新方式への機器更新を実施します。

・更新機器

①携帯防護無線機



②移動局装置



・更新計画

	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027
協議・設計	← 12ヶ月 →			
機器製作	← 手配～出荷：20ヶ月 →			
試運転対応			← 初編成2ヶ月/量産展開7ヶ月(2編成/月更新) →	
新システム稼働				← →

(2 前年度から変更・見直した点)

なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・車両安全確保のため
- ・車両老朽化や電機品の製造終了に対応するため

(4 除却資産の有無)

- 有  
 無

(5 補助対象の有無)

- 有  
 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：佐田東・小森

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
21 4000形2次車製造	0

(1 事業目的・内容)

ブルーライン既存車両3000形シリーズは、車体や台車の製造年数が経過し寿命を迎えつつあります。特に、3000N形は令和11年時点で約30年経過、S形の台車は2000形からの流用品で約44年となり、今後、更新不可能な機器や部品の発生に伴い故障対応も困難になることが想定されるため、新型車両への置き換えを実施することとします。

発注形態は、WTO政府調達協定に基づく一般競争入札であり、広い範囲の製造請負者が入札可能となります。海外メーカーなど新規者の参入機会が広がると共に、近年の技術革新に伴う様々な新技術も検討し導入方法や範囲を十分精査したうえで、将来的な視点を持った車両仕様とします。

全体工程は、令和6年度後期の契約目標とし令和12年までの予定です。なお納入数量については、既存車両の廃車工程や受注者の生産能力等を考慮しながら段階的に編成数を決めていきます。

工程

年度		R5	R6	R7・8	R9	R10	R11	R12	合計
新型車両	準備	検討	検討 発注	設計・製造					
	納入予定				1編成	4編成	4編成	4編成	13編成
既存車両	廃車予定				.....	.....	.....		

(2 前年度から変更・見直した点)  
新規

- (3 根拠法令・規程、現場の意見等)
- ・ブルーライン車両改良投資計画(平成20年度～令和10年度)
  - ・既存車両の寿命に伴う車両安全確保のため

(4 除却資産の有無)

有  
 無

(5 補助対象の有無)

有  
 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：佐田東・小森

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
22 10000形車外表示装置予備品購入	0

## (1 事業目的・内容)

10000形車両の車外表示装置の当該製品の製造終了に伴い、今後の故障対応等の保守に必要な予備品を購入し、装置全体の延命を図ります。

対象装置：10000形車両用 正面行先表示装置、運行番号表示装置、側面行先表示装置

## (2 前年度から変更・見直した点)

新規

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

・車両安全確保のため

・車両老朽化や電機品の製造終了に対応するため

## (4 除却資産の有無)

有  
 無

## (5 補助対象の有無)

有  
 無

## (6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 担当者名: 関口、成嶋、辻、和田

(単位:千円)

	6年度 A	5年度 B	増△減(A-B)
予算額	5,114,757	2,970,247	2,144,510

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
1 高圧配電線更新工事	

(1 事業目的・内容)

【工事の目的】

高圧配電線(ケーブル)は、当局の付帯変電所から、各駅の電気室へ電気を供給するための電力ケーブルです。更新計画中の区間は、高圧配電線を格納しているコンクリートトラフが、塩害により激しく腐食し、ケーブルが露出している部位があります。(対象区間:伊勢佐木長者町~吉野町、横浜~三ツ沢下町)  
また、敷設・運用より26年、39年が経過していることから、高圧配電線の信頼性が低下しつつあると考えられます。そのため安定した電力供給の維持を目的に、高圧配電線およびコンクリートトラフの更新を実施します。

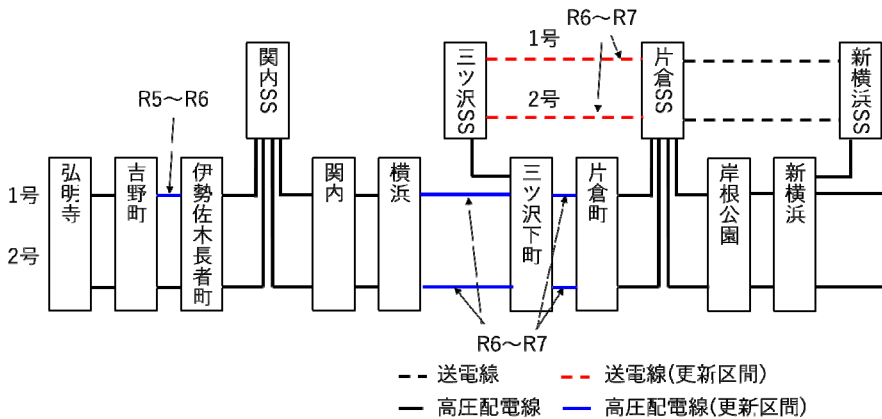
【課題】

工事の大半は夜間の軌道内を占有する工事のため、関係箇所との調整を密にし工事を行う必要があります。また高圧配電線は停止させる事ができないため、高圧配電線の仮設等を行いながら、慎重に工事を実施します。

★高圧配電線更新計画

区間	亘長	設置	経過年数	R5	R6	R7	R8	R9	R10
吉野町E/R~伊勢佐木長者町E/R(上り)	1400	1997	26	●	●				
横浜E/R~片倉町	8800	1984	39		●	●			
片倉S/S~新横浜S/S	5800	1984	39				●	●	
舞岡S/S~上永谷E/R	4400	1984	39					●	●

※上下線の更新の場合は亘長を2倍している



一部が破損しているコンクリートトラフ

(4 除却資産の有無)

■ 有 1997-20-00253  
□ 無

(5 補助対象の有無)

□ 有  
■ 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費	64,050					
債務負担設定						



令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、成嶋、辻、和田

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	6年度予算額
<b>2 弘明寺駅電気室更新工事</b>	

(1 事業目的・内容)

電気室更新のための機器更新工事を実施します。

弘明寺駅電気室は、昭和47年の開業以来、51年稼働しており、補修部品の入手やオーバーホール等の修繕が困難な状況です（更新の目安：約 30年）。万一、電気室の機能に故障が発生した場合、駅の電力供給が行えないばかりか、信号保安装置等、列車の運行に必要な装置への電力供給が行えなくなり、運行支障が発生してしまい、その結果、多くのお客様にご迷惑をおかけすることにもなります。

また、電気室で使用している変圧器についてはPCB含有の機器のためPCB特措法に基づく処分期限（令和8年度末）までに機器の更新を実施し、既設変圧器を処分する必要があります。  
このことから弘明寺駅電気室について、機器更新工事を実施いたします。

★工事計画

対象電気室	設置年	経過年数	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
弘明寺駅	1972	51	●	●	●	●	●

- 基本設計 ●—●—●—●
- 実施設計 ●—●—●—●
- 工事 ●●●●●●●●



弘明寺駅電気室のPCB含有変圧器

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

PCB含有の機器のためPCB特措法に基づく処分期限(令和8年度末)までに機器の更新を実施し、既設変圧器を処分する必要あり

(4 除却資産の有無)

- 有
- 無

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、成嶋、辻、和田

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
<b>3 片倉変電所機器更新工事</b>	<b>1,187,720</b>

(1 事業目的・内容)

片倉変電所は昭和60年度の開業以来、使用開始から30年以上が経過し機器の劣化が進行し、製造中止となった部品も多く、健全な機能を維持することが困難となりました。全面的な機器の更新を行い、設備の信頼性の向上を図ります。更新に伴い、機器配置等が変更となるため非常用発電設備、換気設備、照明設備や電線路設備、電力管理システム改修等の改修も併せて実施します。

【事業計画】

件 名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	契約・機器製作	機器製作・工事	工事	工事	
片倉変電所機器更新工事 (東京電力工事含む)	■	■	■	■	
片倉変電所電線路改修工事		■	■	■	
片倉変電所電力管理システム変更		■	■	■	



66kV 特別高圧受電設備



直流き電設備

(2 前年度から変更・見直した点)  
出来高変更に伴う金額の修正

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

■ 有  
□ 無

(5 補助対象の有無)

□ 有  
■ 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費	815,041	1,187,720				2,002,761
債務負担設定						

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、成嶋、辻、和田

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
4 笹下変電所機器更新工事	560,700

(1 事業目的・内容)

笹下変電所は1977年製であり、製造から45年が経過し機器の劣化が進行しています。製造中止となった部品も多く、健全な機能を維持することが困難となりました。全面的な機器の更新を行い、設備の信頼性の向上を図ります。更新に伴い、機器配置等が変更となるため換気設備、照明設備や電線路設備、電力管理システム改修等の改修も併せて実施します。

【課題】

・整流器用遮断器が1台故障中であり、修理不可のため片系運用している

【検討事項】

更新工事に当たっては、方法を検討することで、費用の削減を図ります。



主配盤設備

【事業計画】

件 名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	実施設計		契約・機器製作	機器製作	工事	
笹下変電所機器更新						
笹下変電所電力管理システム変更						

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有  
 無

(5 補助対象の有無)

有  
 無

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費	250,000	560,700	47,036			857,736
債務負担設定						

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、成嶋、辻、和田

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
5 茅ヶ崎変電所機器更新工事	0

(1 事業目的・内容)

茅ヶ崎変電所の機器は1992年製で32年経過しており、部品の製造中止により故障時の修理が困難な状態のため、更新を実施します。更新にあたっては変電機器、建物電気設備(照明)、防災設備、機械設備を更新する必要があり、合わせて電車線路、電力管理システムの改修を行います。



66kV 特別高圧受電設備



主配盤設備

【事業計画】

件 名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	茅ヶ崎変電所機器更新工事	基本設計・実施設計		工事				

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有  
 無

(5 補助対象の有無)

有  
 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費	22,000					
債務負担設定						

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、成嶋、辻、和田

(単位：千円)

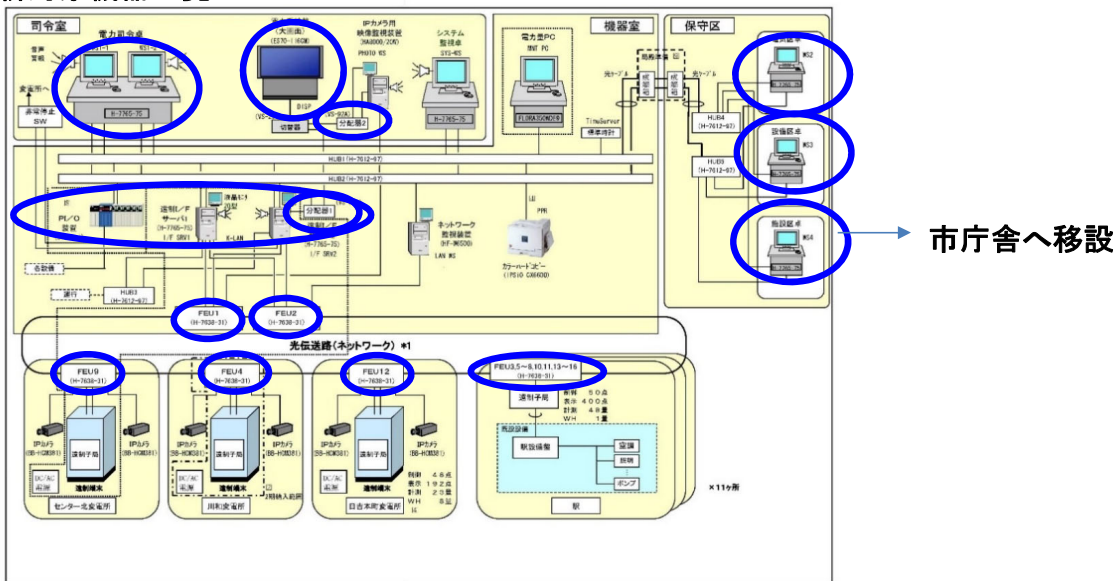
【事業内容】	6年度予算額
6 グリーンライン電力管理システム部分更新	249,700

(1 事業目的・内容)

電力管理システムは変電所の機器状態、故障情報、電力量データ等を収集し、それぞれの状態表示や機器の操作をすることができます。また、各変電所には上記を行う為、遠方監視制御装置が設置されています。

グリーンライン電力管理システムは開業から14年がたっており機器の更新推奨時期になっています。そのため電力管理システムを継続して使用するために生産終了され機器交換、部品交換のできない機器の更新委託を行います。あわせて緊急時に効率に対応ができるように市庁舎に監視端末を移設します。

更新対象機器一覧



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
- 無

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、成嶋、辻、和田

(単位：千円)

【事業内容】	6年度予算額
<b>7 直流電源装置更新工事</b>	

(1) 事業目的・内容

直流電源装置は停電時に駅の非常灯を点灯させたり、電気室及び変電所の開閉器の動作や故障検出を行う継電器への電源を供給しています。

令和6年度はあざみ野駅、北新横浜駅、牛久保変電所の直流電源装置の機器更新を行い、機器の健全性の維持・確保を行います。

更新計画は直流電源装置の設置から30年経過した装置に対して、鉛蓄電池の寿命を考慮して計画しています。

<更新計画>

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
場所	センター南駅 センター北駅	北新横浜駅・あざみ野駅 牛久保変電所	中川駅 北の谷変電所
製造年・更新時経過年数	1992年・31年経過	1992年・32年経過	1992年・33年経過
蓄電池交換実施年・蓄電池経過年数	センター南 2015年・8年経過 センター北 2019年・4年経過	北新横浜 2016年・8年経過 あざみ野 2019年・5年経過 牛久保 2010年・14年経過	中川 2015年・10年経過 北の谷 2016年・9年経過
内容	蓄電池交換及び整流器更新	蓄電池交換及び整流器更新	蓄電池交換及び整流器更新

設計期間 ●●●●●●  
工事 ●●●●●●

<年度計画表>

件名	令和5年度	令和6年度	令和7年度
センター南駅 センター北駅	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	
北新横浜駅・あざみ野駅 牛久保変電所		●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●
中川駅 北の谷変電所			●●●●●●●●●●

(2) 前年度から変更・見直した点

半導体不足により、単年度から複数年工事に変更

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

(4) 除却資産の有無

有  
 無

(5) 補助対象の有無

有  
 無



【参考】直流電源装置

(6) 年次表

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費	21,000					
債務負担設定						

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、成嶋、辻、和田

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
<b>8 上永谷車両基地き電監視盤ほか更新(実施設計)</b>	<b>55,374</b>

(1) 事業目的・内容

上永谷車両基地の検車庫用直流開閉器盤、現地操作盤及びき電監視盤の更新計画の設計を行います。  
 上永谷車両基地検車庫用直流開閉器盤(以下、C盤)及び現地操作盤(以下G盤)は、昭和52年に設置されました。現在、42年経過しており、劣化が進行しています。また修理に必要な補修部品等も既に生産が中止されており、故障等の不具合が発生した場合に修理対応に多くの時間を要してしまう状況です。  
 また、直流開閉器の状態を監視しているき電監視制御盤についても本体及び制御線の経年劣化が進んでいるため、C盤及びG盤更新を含めて更新ステップを設計します。

【主な不具合】

●経年老朽化による本体の発錆や腐食 ●可動部の動作不具 ●スイッチの接触不良 ●配線の絶縁抵抗の低下

【C盤】

上永谷車両基地には、車両を点検するための点検線があります。点検線内には、点検中の列車に直流750Vを送るための「検受」と呼ばれる設備があります。

C盤は、「検受」の直流750Vを開閉するための直流開閉器盤で、電磁接触器1台で構成されています。

【G盤】

G盤は、C盤に収納されている電磁接触器を遠方の点検線で開閉操作するための現地操作スイッチ盤です。

【MC盤】

C盤の上位に存在し、サードレールを開閉するための直流開閉器で、高速度遮断器で構成されています。

【き電監視制御盤】

MC盤の状態を監視し、基地構内の直流750Vの入切状態を監視しています。

【事業計画】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度以降
基本設計	●————●					
実施設計			●————●			
更新工事				●————●	●————●	●————●

(2) 前年度から変更・見直した点

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等



現地操作盤



直流開閉器盤

(4) 除却資産の有無

有  
 無

(5) 補助対象の有無

有  
 無

(6) 年次表

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費	15,600	55,374				70,974
債務負担設定	36,400					36,400

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、成嶋、辻、和田

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
<b>9 駅照明更新工事</b>	

(1 事業目的・内容)

駅照明の消費電力を削減しCO2の排出を抑止することを目的に、直管型110W蛍光灯や水銀灯のLED化を駅の改修や老朽化対策等に合わせ、周囲の機器への影響及び安全性に配慮しながら調査や導入を実施しています。  
令和12年度までに接客部の照明のLED化率100%を目指し、駅に設置されている蛍光灯のLED化を進めます。  
(現状のLED化率 BL:66% GL:16% 全体:54%)(令和4年度実績)

【更新計画】

駅	灯数	電力削減率 (kWh/年)	CO2削減量 (t/年)	令和5年	令和6年	令和7年
舞岡	136	14137	6.3	←→	←→	
下永谷	118	12266	5.5	←→	←→	
伊勢佐木長者町	219	22765	10.2	←→	←→	
踏場	152	15800	7.1	←→	←→	
弘明寺	81	8420	3.8	←→	←→	
GL各駅水銀灯	50	5198	2.3	←→	←→	
横浜	293	30457	13.6	←→	←→	
センター南	336	34927	15.6	←→	←→	
蒔田	260	27027	12.1	←→	←→	
港南中央	217	22557	10.1	←→	←→	
戸塚	305	31705	14.2	←→	←→	←→
センター北	202	20998	9.4	←→	←→	←→
中田	225	23389	10.5	←→	←→	←→
立場	170	17672	7.9	←→	←→	←→
下飯田	197	20478	9.2	←→	←→	←→
湘南台	241	25052	11.2	←→	←→	←→



(2 前年度から変更・見直した点)

昨年度、不調等で、遅延している工事の令和6年度支払い分を当初予定に追加  
蒔田駅は建築工事と同時に施工見込み

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有  
 無

(5 補助対象の有無)

有 公営企業債(脱炭素化事業)対象事業  
 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費	151,565					
債務負担設定						







令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、成嶋、辻、和田

(単位：千円)

【事業内容】	6年度予算額
12 区分開閉器更新工事	0

(1 事業目的・内容)

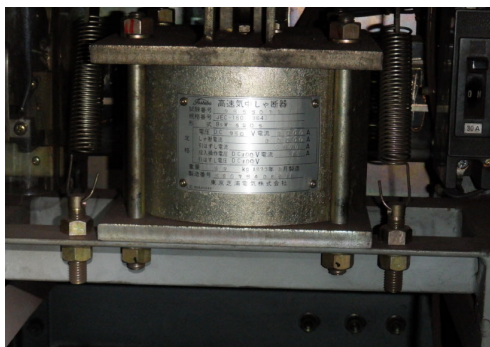
区分開閉器は、電力回路を安全に開閉する設備です。  
 上大岡駅に設置している直流区分開閉器は、製造から48年が経過しております。  
 本設備は列車走行用の電力開閉器であり、電気事故等発生時に回路を遮断するほか、平日の営業運転終了後にいち早く不要な区間の電力供給を停止する部分き電停止に用いるため、保守作業や工事を効率良く行うために欠かせない設備です。

既設設備には以下の課題があるため、更新を行います。

- ・老朽化により機器の故障リスクがある
- ・機器故障時には部分き電停止が行えず、保守作業や工事の作業可能時間が短くなってしま



開閉器盤外観



遮断器外観

【事業計画】

	設置年	経過年数	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度以降
上大岡駅	1975年	48	●	●	●			
弘明寺駅	1972年	51			●	●	●	
阪東橋駅	1972年	51					●	●

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有  
 無

有  
 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費	21,000					
債務負担設定						

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、成嶋、辻、和田

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
13 隧道照明更新工事	

## (1 事業目的・内容)

ずい道(トンネル)内の照明器具をLED照明器具に更新します。

ブルーライン及びグリーンラインのずい道内の照明器具は、鉄道に関する技術上の基準を定める省令の避難設備として設置しています。非常時の際は、速やかに点灯するものとし、設計・運用されている照明器具です。

また、トンネル内は保守職員が点検のために昼夜歩行するため、これらの照明器具を常時点灯(24時間365日)として運用しています。

## 【LED化による効果】

消費電力の削減量(予定):年間197,319kWh

CO2削減量(予定):年間88t

蛍光灯交換にかかる保守点検(年間約90日:全線):LED化により大幅減が見込める

## 【今後の計画】

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業計画	0灯(発注のみ)	1026灯	1203灯	783灯	1093灯
	—	湘南台～上永谷	伊勢佐木長者町～新羽	上永谷～長者町	新羽～あざみ野 中山～北山田
進捗率(予定)	0%	21.40%	46.60%	62.96%	85.80%



ずい道照明(イメージ)

ブルーラインは令和9年度に、グリーンラインは令和10年度にLED化が完了する予定です。

隧道照明のLED化は横浜市交通局初の取り組みの為、誘導無線への影響や運転手からの見え方の調査も合わせて検証し、新百合ヶ丘延伸の設計仕様に反映させます。

## (2 前年度から変更・見直した点)

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令  
第二十九条(地下駅等の整備)

2 地下駅等には、施設の状況に応じ、必要な消火設備、避難設備その他の火災対策設備を設けなければならない。

## (4 除却資産の有無)

有  
 無

## (5 補助対象の有無)

有 公営企業債(脱炭素化事業)対象事業  
 無

## (6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、成嶋、辻、和田

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	6年度予算額
14 上永谷電気室更新工事(基本・実施設計)	18,590

(1 事業目的・内容)

電気室更新のための基本設計について、設計を委託します。

上永谷駅電気室は、昭和50年の竣工以来、48年稼働しており、補修部品の入手やオーバーホール等の修繕が困難な状況です(更新の目安:約30年)。万一、電気室の機能に故障が発生した場合、駅の電力供給が行えないばかりか、信号保安装置等、列車の運行に必要な装置への電力供給が行えなくなり、運行支障が発生してしまい、その結果、多くのお客様にご迷惑をおかけすることにもなります。このことから上永谷駅電気室について、機器更新のための基本設計を委託致します。

★委託発注計画

対象電気室	設置年	経過年数	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
上永谷駅	1975	48	●	●	●	●

- 基本設計 ● - - - ●
- 実施設計 ● - - - ●
- 工事 ● ● ● ● ● ● ● ●



(印加部が露出している為、保守作業時に感電の恐れがある)

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
- 無

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費	18,000	18,590				36,590
債務負担設定	25,190					25,190

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、成嶋、辻、和田

(単位：千円)

<b>【事業内容】</b>	6年度予算額
<b>15 横浜駅電気室更新工事</b>	

(1 事業目的・内容)

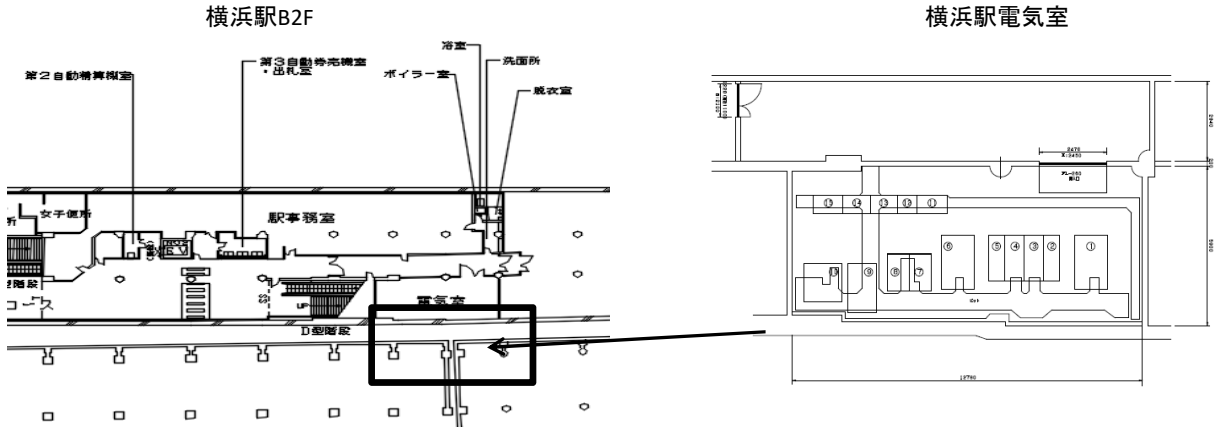
ブルーラインの電気室は駅の大規模改修に合わせて設備更新を実施してきましたが、設備の老朽化により機器の更新が必要とされる電気室のうち、駅の大規模改修の予定がなく竣工から40年以上が経過した電気室について、機器更新を進めていきます。

横浜駅電気室は、開業以来、48年稼働しており、補修部品の入手やオーバーホール等の修繕が困難な状況です（更新の目安：約 30年）。万一、電気室の機能に故障が発生した場合、駅の電力供給が行えないばかりか、信号保安装置等、列車の運行に必要な装置への電力供給が行えなくなり、運行支障が発生してしまい、その結果、多くのお客様にご迷惑をおかけすることにもなります。

基本設計 ●—●—●—  
実施設計 ●—●—●—  
工事 ●●●●●●

★委託発注計画

対象電気室	設置年	経過年数	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
横浜駅	1975	48	●—●—●—	●—●—●—			●●●●●●	●●●●●●	●●●●●●	●●●●●●



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有  
 無

(5 補助対象の有無)

有  
 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、成嶋、辻、和田

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
16 新横浜変電所直流開閉器部分更新	0

(1 事業目的・内容)

新横浜変電所は昭和58年の開業以来、使用開始から30年以上が経過し機器の劣化が進行しています。令和2年度に真空遮断器の更新を実施しましたが、直流き電設備である直流遮断器も老朽化が進んでおり更新が必要な状態となっています。直流遮断器が故障すると電車に電気を供給するために電気の投入、解放ができず営業線に多大な影響を与えるため更新を実施します。

【事業計画】

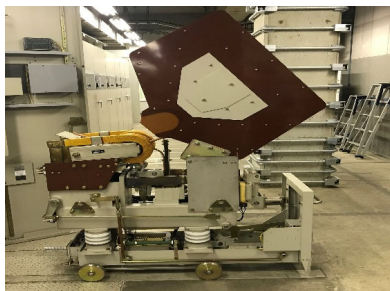
計画内容	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
	契約・機器製作	工事	工事	工事	
当初計画(変電所一式更新)					10億前後規模
今回の計画(部分更新延命)					部分更新により 10数年の延命

【延命化の目的】

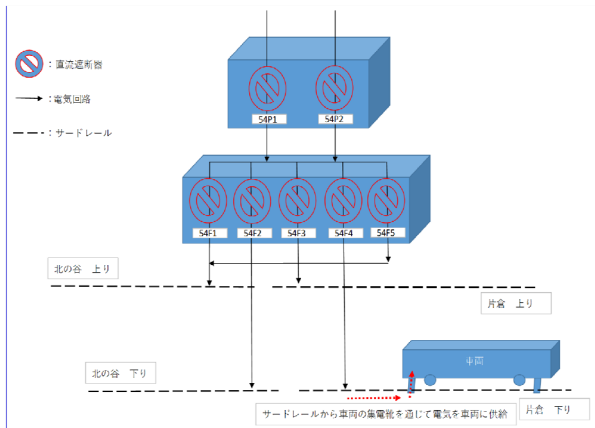
- ・真空遮断器が更新済みのため、直流遮断器のみの更新で10数年の延命ができます。
- ・直流遮断器はき電線路に電気を送るために必要な設備で故障すると、き電線路に電気を送ることができなくなり、車両に電気が供給されなくなります。確実な運行のために更新が必要です。



直流き電盤



直流遮断器



概要図

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有  
 無

(5 補助対象の有無)

- 有  
 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、成嶋、辻、和田

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
17 舞岡変電所機器更新工事	0

(1 事業目的・内容)

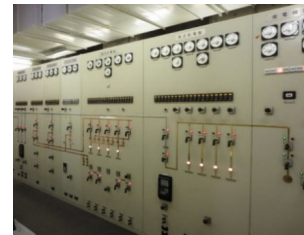
舞岡変電所は1986年製であり、製造から36年が経過し機器の劣化が進行しています。製造中止となった部品も多く、健全な機能を維持することが困難となりました。全面的な機器の更新を行い、設備の信頼性の向上を図ります。更新に伴い、機器配置等が変更となるため換気設備、照明設備や電線路設備、電力管理システム改修等の改修も併せて実施します。

【課題】

電力会社からの受電を担う受電変電所であり、機器故障時の影響範囲が大きい

【検討事項】

- 適切な工期設定を行い、費用の平準化を図ります。
- 直流電源設備など一部設備は既設流用とし、費用を削減しています。



主配電盤

【事業計画】

件 名	令和2・3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
舞岡変電所機器更新(1期)			発注	機器製作	工事		
舞岡変電所機器更新(2期)					発注	機器製作	工事
舞岡変電所電線路改修工事							
舞岡変電所電力管理システム変更							
電力会社工事							

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有  
 無

(5 補助対象の有無)

- 有  
 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						



令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、成嶋、辻、和田

(単位：千円)

【事業内容】	6年度予算額
18 吉田町中間ポンプケーブル他更新工事	12,000

(1) 事業目的・内容

戸塚電気室から吉田町中間ポンプ室に電気を供給するケーブル及び開閉器の更新をします。  
 地下鉄トンネル内の雨水・湧水を排出する設備として吉田町中間ポンプがあります。  
 現在、全てのポンプが始動した場合、電動機用の過電流遮断器が解放してしまう状態が発生しており、電動機の容量に見合った遮断器およびケーブルの更新が必要です。  
 排水ポンプが停止した場合、トンネル内の排水が行われなため、軌道内等浸水などにより電車線路や信号設備への支障が発生し運行が出来なくなるなど多大な影響があります。

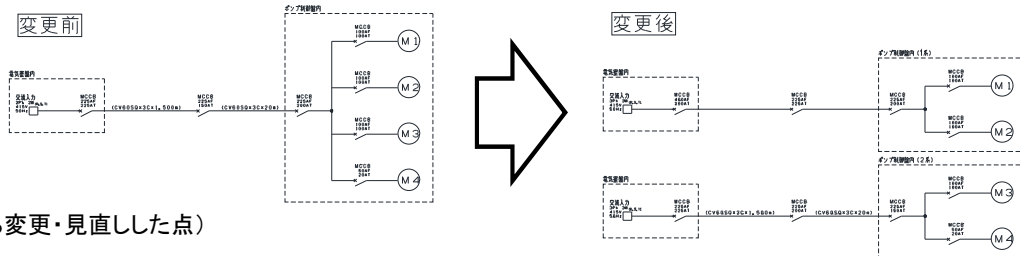
【更新内容】

- ・ケーブルを再選定すると共に、1条化から2条化(1系・2系)に変更し電源分離化をする。
- ・遮断器再選定をし、保護協調を考慮する。

【補足】

- ・ポンプ制御盤に関しては、電源分離化(1系・2系)を実施し設備が停止した場合の警報装置(軽・重故障)等を追加する。

【対策図】



(2) 前年度から変更・見直した点

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等

(4) 除却資産の有無

- 有  
 無

(5) 補助対象の有無

- 有  
 無

(6) 年次表

ポンプ制御盤



	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費	8,000	12,000				20,000
債務負担設定	12,000					12,000

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、成嶋、辻、和田

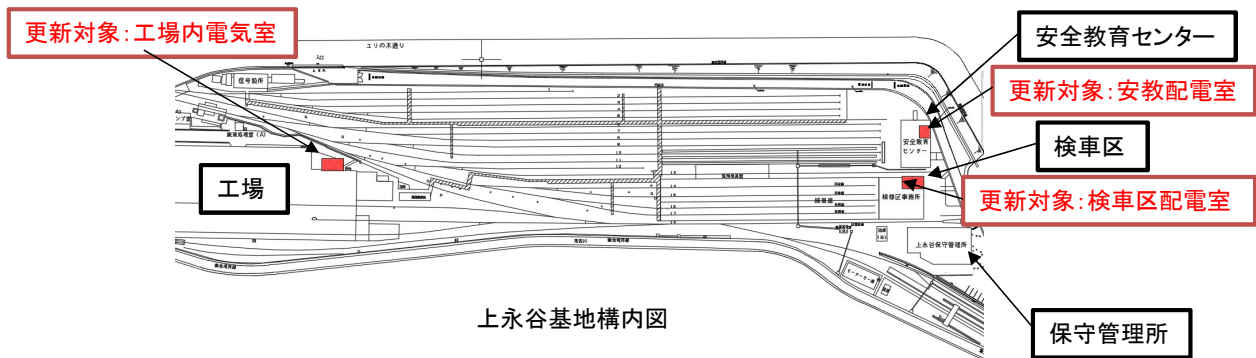
(単位：千円)

【事業内容】	6年度予算額
19 上永谷基地電気室更新工事(基本・実施設計)	29,590

(1 事業目的・内容)

電気室更新のための設計を委託します。

上永谷基地電気室は、1976年製であり、47年稼働しています。老朽化が進行しており、補修部品の入手やオーバーホール等の修繕が困難な状況です(更新の目安：約30年)。万一、電気室の機能に故障が発生した場合、基地の電力供給が行えなくなり、信号保安装置等、列車の運行に必要な装置が停止する恐れがあります。基地機能が停止してしまうと、本線の列車運行も困難となります。



(2 前年度から変更・見直した点)

前年度:基本設計  
今年度:実施設計

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有  
 無

(5 補助対象の有無)

有  
 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費	33,790	29,590				63,380
債務負担設定	36,930					36,930

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、成嶋、辻、和田

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
<b>20 上永谷基地帰線自動開閉器更新工事</b>	<b>0</b>

(1 事業目的・内容)

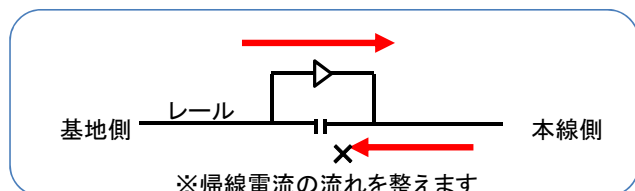
上永谷基地の帰線自動開閉器は帰線電流の迷走防止・基地内走行レールの電位上昇防止等を目的に設置されています。本設備には低濃度PCBが使用されており、令和8年度末までの処分が義務付けられています。機器製作期間が長期化しており、処分期限に向けて早めの更新を行います。

【機器仕様】

- ・ 定格：750V/600A 油量：90 L 1989年製  
4台

【事業計画】

令和5年度	令和6年度	令和7年度
契約・機器製作	機器製作・工事	機器製作・工事



帰線自動開閉器

(2 前年度から変更・見直した点)  
設計金額に変更

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)  
ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法  
(令和9年3月31日までの処分を義務付け)

(4 除却資産の有無)

- 有  
 無

(5 補助対象の有無)

- 有  
 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、成嶋、辻、和田

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
21 下飯田変電所22kV開閉設備更新工事	0

(1 事業目的・内容)

下飯田変電所の22kV開閉設備は機器の寿命である動作回数1万回を超えており、信頼性が低下しています。令和5年7月には遮断器の部品の一部が故障し、湘南台～立場間で通常運行に影響を与えるなど、実際に不都合も発生しています。

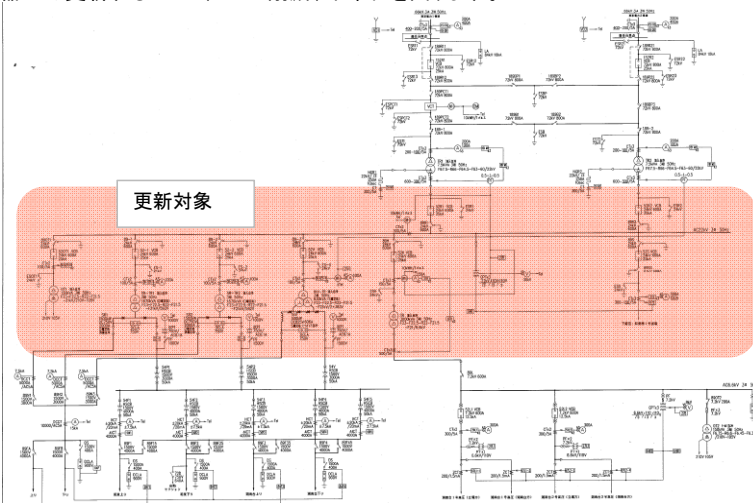
当該製品はメーカーでも生産が中止しており、再度、故障した際には復旧は困難です。

【更新内容】

22kV開閉設備 一式を更新します。

【検討事項】

変電所の一括更新とせず、寿命に達した機器のみ更新することで、コスト削減、平準化を図ります。



(2 前年度から変更・見直した点)  
新規

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
- 無

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、成嶋、辻、和田

(単位：千円)

【事業内容】	6年度予算額
<b>22 変電所換気空調設備更新工事</b>	

## (1 事業目的・内容)

変電所の換気空調設備を更新します。

変電所の変電機器は通電により使用中発熱します。機器が高温となった場合、機械的・電氣的に故障が発生するリスクが高まります。そこで、換気空調装置は所内の変電機器の冷却のため不可欠です。しかし、外部の空気をそのまま取り込むと、粉塵・土埃や虫等が変電所内に侵入し、機器の故障につながります。そのため、給気部分にフィルターを設けています。

## 【下飯田変電所】

フィルター装置は製造から23年(平成11年製造)が経過しており、故障や発錆がひどく、保守業務に支障をきたしています。よって、フィルター装置を更新します。

更新に当たっては、既設のロールフィルターからパネルフィルターとすることで、イニシャルコストの削減とともに、保守の効率化によるランニングコストの削減をはかります。



## 【新横浜変電所】

機器の部分更新に合わせ、換気空調設備も更新を行い、信頼性の向上を図ります。換気設備は1984年製で製造から39年経過しており、信頼性が低下しています。

## 【蔦田変電所】

ダクト部分に関しては令和3年度に更新されています。送風機本体は製造から52年が経過しており、故障や発錆がひどいため、更新し、信頼性の向上を図ります。

(2 前年度から変更・見直した点)  
新規

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## (4 除却資産の有無)

有  
 無

## (5 補助対象の有無)

有  
 無

令和6年度 建設改良費 事業計画書

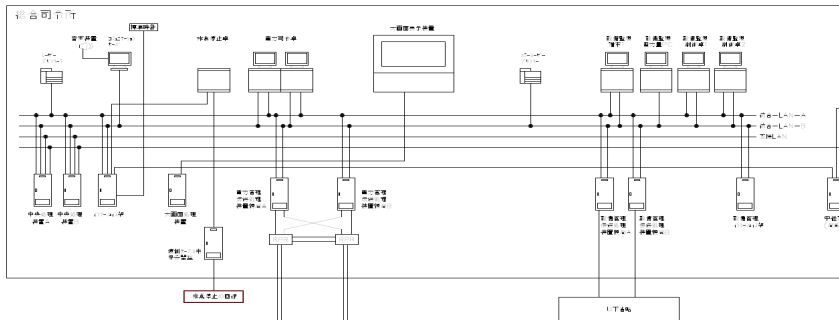
予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、成嶋、辻、和田

(単位:千円)

<b>【 事 業 内 容 】</b>	6年度予算額
<b>23 ブルーライン遠制ケーブル更新工事</b>	

(1 事業目的・内容)

総合司令部から変電所に非常停止(5E)の制御信号を送っている遠制ケーブルの更新を行います。  
 遠制ケーブルは総合司令部を起点にし各変電所を経由し、軌道内に敷設しています。  
 敷設から30年以上経っており、平成27年にはケーブル接続点の腐食も発生し劣化が進んでいます。  
 非常停止は変電所にて事故が発生した際や機器の遠隔操作ができなくなった際、更なる被害(漏電、火災など)が発生させないよう  
 電気司令部から指示する重要な制御信号であり、安全な運行のため、また、変電所の周辺(駅や住宅地)に影響を与えないよう必要なものです。



計18変電所(計17区間)  
 令和6年度、7年度 1区間  
 令和8年度、9年度 2区間  
 令和10年度、11年度 2区間  
 令和12年度、13年度 2区間  
 令和14年度、15年度 2区間  
 令和16年度、17年度 2区間  
 令和18年度、19年度 2区間  
 令和20年度、21年度 2区間  
 令和22年度、23年度 2区間

(2 前年度から変更・見直した点)

新規案件

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有  
 無

(5 補助対象の有無)

有  
 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、成嶋、辻、和田

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
<b>24 サードレール測定用定規購入</b>	

## (1 事業目的・内容)

サードレールのずれを測定するために使用する定規を購入します。  
サードレールは、碇子の上に自身の自重のみで支持されており、固定されていません。そのため、列車通過時の微細な振動で、本来の据え付け位置からずれが生じることがあります。そのずれをサードレール定規で測定し、点検と調整を行い列車の運行の安全を保っています。各区に1本ずつしかなく、故障時に保守作業に支障があるため購入します。



サードレールの測定風景

## 購入数量

上永谷電気区	1本
新羽電気区	1本

(2 前年度から変更・見直した点)  
新規

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有  
 無

(5 補助対象の有無)

有  
 無

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、成嶋、辻、和田

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
<b>25 北の谷変電所機器更新工事(基本設計、実施設計)</b>	

(1 事業目的・内容)

北の谷変電所の機器を更新するための基本設計及び実施設計を委託します。  
北の谷変電所に設置されている変電機器は更新時期を迎えており、更新にあたっては変電機器、建物電気設備(照明)、防災設備、機械設備の仕様の見直しする必要があるため、基本計画について、基本・実施設計を委託します。



←整流器  
(写真は参考として三ツ沢変電所のもの)

【事業計画】

件 名	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	基本設計・実施設計		工事	
北の谷変電所機器更新工事	●————●		●————	

(2 前年度から変更・見直した点)  
新規

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有  
 無

(5 補助対象の有無)

有  
 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						



令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、成嶋、辻、和田

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	6年度予算額
<b>26 軌道モーターカー車庫改修</b>	

(1 事業目的・内容)

上永谷電気区の既存モーターカー車庫を改修し、これまで購入したモーターカーと同型機を使用可能にすることで購入金額を縮減します。  
また、将来的にMCの機能を統合し、保有台数減を目指します



1998年製モーターカー



改修対象モーターカー

号車	保管場所	用途	製造年
3号車	上永谷	電力	1998
4号車		信通	1998
11号車		工事	2016
12号車	新羽	電力	2018
13号車		信通	2019
14号車		工事	2020

(2 前年度から変更・見直した点)  
新規

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
- 無

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、成嶋、辻、和田

(単位:千円)

<b>【 事 業 内 容 】</b>	6年度予算額
<b>27 応急自動車更新(上永谷保守管理所)</b>	

(1 事業目的・内容)

電気区で使用している保守用自動車のうち、経年劣化が顕著な応急車について更新を行います。使用状況を踏まえた車種の見直しを行い、EV軽貨物車に更新することで、脱炭素化を推進します。

【応急自動車概要】

- ・車両名称 日産キャラバン
- ・乗車定員 8人
- ・登録年月日 平成21年9月7日
- ・走行距離 127,232km  
(令和5年9月現在)
- ・車両燃費 4.2km/ℓ(実燃費)  
1kmあたり38円  
(ガソリン160円/ℓで計算)

【更新後】

- EV軽貨物車(ミニキャブ・ミーブ等)
- 4人
- 137Wh/km(WLTCモード・カタログ値)  
1kmあたり3.7円  
(電気代27.09円/kWhで計算)  
給油に行くための時間も削減



車両外観(1)



車両外観(2)

【経年劣化による不具合】

- ・エアコンの不調  
エアコン本体の不調のため冷風が出ず、夏場は熱中症の危険があります。
- ・エンジンオイルの油漏れ  
漏油が頻発しており、外注修理により応急処置を行いました。根本的な解決には詳細な調査・修理の必要がある状況です。
- ・車体後部・側面の凹み・傷  
車体後部や側面に擦り傷や凹みが目立つ状況です。

【EV導入の実用性についての検討】

- ・1回の充電で150km走行可能(カタログ値)
- ・バッテリー残量警告状態から満充電まで200Vにて7時間必要
- ・上永谷基地～湘南台14kmであり1回の充電で5往復可能なため、十分実用的



【充電設備の設置】上永谷保守管理所に200V普通充電用コンセントを増設します。

(2 前年度から変更・見直した点)  
新規

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

- 有 公営企業債(脱炭素化事業)対象事業
- 無

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、成嶋、辻、和田

(単位：千円)

【事業内容】	6年度予算額
28 信号保安装置更新工事(新羽)	943,564

## (1) 事業目的・内容

新羽駅の信号保安装置(ATC装置、連動装置)は、運用開始後約28年経過しています。これまでに経年劣化対策として、ATC装置については設置後10年を基準にオーバーホールにより延命化を行い、さらに20年を基準に部分更新を行いました。また、連動装置についても設置後15年を基準に部分更新を行い、これらの取り組みにより重大事故や運行障害に直結する故障の発生はなく、安全性を確保して来ました。

しかし、設置後30年を経過することから、下記の理由により全面更新が必要です。

- ・今後故障の増加が予測されること。
- ・装置を構成する主要部品がすでに製造中止となり、今後の修理対応が困難なこと。
- ・装置内の配線、コネクタ等にも劣化が進んでいること。

信号装置	使用開始	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
新羽	H5年3月	設計・契約 .....	工事	工事	工事・撤去

## (2) 前年度から変更・見直した点

○継続事業

## (3) 根拠法令・規程、現場の意見等

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」第9章 第87条第3項 運転保安設備の保持  
横浜市高速鉄道信号通信設備整備心得

## (4) 除却資産の有無

有  
 無

## (5) 補助対象の有無

有  
 無

## (6) 年次表

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費	458,276	943,564				1,401,840
債務負担設定						

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、成嶋、辻、和田

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	6年度予算額
29 運行管理システム改修作業(新羽)	0

(1 事業目的・内容)

運行管理システムは、運輸司令業務の効率化と旅客案内サービスの向上をはかるために、電子計算機を使用して列車の運行制御、運行実績記録、在線状況表示、案内放送および案内表示の制御を自動的に行う装置です。  
本作業は新羽駅の信号保安装置(ATC装置・連動装置)更新に伴い、更新後の装置を正常に動作させるために運行管理システムの改修を行う必要があります。

(2 前年度から変更・見直した点)

○新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」第9章 第87条第3項 運転保安設備の保持  
横浜市高速鉄道信号通信設備整備心得

(4 除却資産の有無)

有  
 無

(5 補助対象の有無)

有  
 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						



令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、成嶋、辻、和田

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
31 信号設備ユニット類更新作業(横浜)	0

(1 事業目的・内容)

①電子連動装置  
 信号保安設備の一つである電子連動装置は、進路の構成や転てつ機の鎖錠など、停車場において列車の安全運行を確保するための装置です。  
 今回更新する横浜駅停車場の電子連動装置は、設置後約15年(2007年7月設置)が経過しており、電子連動装置の主要構成部品である各ユニットのコンデンサー、継電器その他の経年劣化部品(期待寿命10年)の更新を行うことで、信号保安設備の故障の未然防止および延命化を図ります。

②ATC装置  
 信号保安設備の一つであるATC装置は、列車の在線位置を検知して、先行列車に衝突しないよう各区間の許容速度を決定して列車に送信し、列車の安全運行を確保するための装置です。  
 今回更新する横浜停車場のATC装置は、設置後約15年(2007年7月)が経過しており、経年劣化部品(期待寿命10年)である各ユニット内のコンデンサー、ローターリースイッチ、電源コンバータ、継電器を更新することで、設備の機能維持および故障の未然防止を図ります。

③信号モニタ装置  
 信号設備の一つである信号モニタ装置は、ATC装置や連動装置など各信号設備の状態を監視して故障や異常を表示するとともに、各信号設備の動作を記録して動作の解析や障害発生時の調査をおこなうためのモニタ装置です。  
 今回更新する横浜停車場の信号モニタ装置は、設置後約15年(2007年7月)が経過しており、信号モニタ装置の主要構成部品であるファクトリーコンピュータはすでにメーカーのサポート期間も切れて交換部品が入手できず、修理ができない状態です。したがって、ファクトリーコンピュータや経年劣化部品(期待寿命10年)であるスイッチング電源や通信機器を更新することで、設備の機能維持および故障の未然防止を図ります。

R3年度 横浜信号機器室(設置後14年経過) 収益減少のため延期  
 R4年度 横浜信号機器室(設置後15年経過) 収益減少のため延期  
 R5年度 横浜信号機器室(設置後16年経過) 使用機材の長納期化の影響で延期  
**R6年度 横浜信号機器室(設置後17年経過)**  
 R7年度 横浜信号機器室(設置後18年経過)  
 R8年度 横浜信号機器室(設置後19年経過)

装置名	更新周期	2007 平成19 設置	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2035	2036
			令和1	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和17	令和18
ATC・連動・モニタ	25年	設置			OH延期	OH延期	OH延期	OH予定	OH予定	OH予定		更新予定	更新予定
電源装置	25年	設置	BT済	OH済							BT予定	更新予定	更新予定

BT:蓄電池のみ OH:ユニット類更新 更新:装置全体更新

- (2 前年度から変更・見直した点)  
 使用機材の長納期化の影響により履行期間見直し
- (3 根拠法令・規程、現場の意見等)  
 「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」第9章 第87条 施設及び車両の保全  
 横浜市高速鉄道信号通信設備整備心得
- (4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)
- 有  有  
 無  無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定	330,000					

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、成嶋、辻、和田

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	6年度予算額
<b>32 信号設備ユニット類更新作業(上永谷車両基地試運転線)</b>	<b>0</b>

(1 事業目的・内容)

①ATC装置

信号保安設備の一つであるATC装置は、列車の在線位置を検知して、先行列車に衝突しないよう各区間の許容速度を決定して列車に送信し、列車の安全運行を確保するための装置です。

ATC装置は設置後約15年が経過しており、経年劣化部品(期待寿命10年)である各ユニット内のコンデンサー、ロータリースイッチ、電源コンバータ、継電器を更新することで、設備の機能維持および故障の未然防止を図ります。

②信号用電源装置

信号用電源装置は、ATC装置に安定した電力を供給するための装置です。

ATC装置と同様、設置後約15年が経過しており、経年劣化部品(期待寿命10年)である各ユニット内のコンデンサー、スイッチング回路等を更新することで、設備の機能維持および故障の未然防止を図ります。

**R6年度 上永谷車両基地試運転線装置(設置後15年経過)**

R7年度 上永谷車両基地試運転線装置(設置後16年経過)

R8年度 上永谷車両基地試運転線装置(設置後17年経過)

(2 前年度から変更・見直した点)

新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

※車両基地の試運転線用設備で、営業線用設備ではないため、根拠法令なし

(4 除却資産の有無)

有  
 無

(5 補助対象の有無)

有  
 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、成嶋、辻、和田

(単位：千円)

【事業内容】	6年度予算額
33 4号線運行表示盤更新作業委託	80,000

(1 事業目的・内容)

運行管理システム(PTC装置)は、運輸司令業務の効率化と旅客案内サービスの向上をはかるために、電子計算機を使用して列車の運行制御、運行実績記録、在線状況表示、案内放送及び案内表示の制御を自動的に行う装置です。

PTC装置は設置後約15年(2007年9月)が経過し、司令所の運行表示盤に使用しているリアプロジェクション方式の大型モニターは主要な消耗部品である光源用のランプが製造中止となっています。

ランプには寿命があるため、手持ちの在庫が枯渇すると、運行表示盤は使用できなくなります。

なお、現在の在庫数で使用できる年数は、2~3年程度です。

以上の理由から、運行表示盤をリアプロジェクション方式モニターから液晶ディスプレイに交換します。

また、運行表示盤には制御装置が付属しており、運行管理システム本体や各駅信号装置からの情報を集約し、大型モニターに表示する機能に加え、2面ある表示盤のうち1面が故障した場合には、1面に縮小表示して動作を継続する機能等を備えています。

運行表示盤制御装置についても、デジタルの映像出力に対応するためハードウェアを更新するほか、従来の4:3の画面比率から現在主流となっている16:9の画面比率に対応するためソフト改修を行います。

- R5年度 機器製作着手
- ◎ R6年度 機器据え付け、動作試験、運用開始



(2 前年度から変更・見直した点)

前年度から継続

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
- 無

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費		80,000				80,000
債務負担設定	80,000					80,000



令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、成嶋、辻、和田

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	6年度予算額
<b>34 1・3号線緊急停止装置改修委託</b>	

(1 事業目的・内容)

緊急停止装置とは、駅のホームから旅客が転落するなど列車を緊急に停止させなければならない事態が発生した場合に、ホームに設置された押しボタンを扱うことで駅に進入、進出する列車を緊急停止させる装置です。  
 旅客の安全確保のため非常に重要な装置ですが、すでに設置から20年が経過しており、経年劣化による動作不良が発生しています。しかし、不良の原因となっている装置内部の「水銀リレー」と呼ばれる部品は、環境規制の強化により、令和2年12月31日をもって製造禁止となっており、修理や新規購入は困難な状況です。  
 このため、点検周期を年2回に増やし、不良箇所の早期発見を図っていますが、根本的な解決には改修が必要です。  
 また、製作時の設計思想で、ボタンを2～3秒間押し続けなければならない仕様となっており、旅客が慌てて操作をした場合(ボタンを押してすぐに離れた場合)十分に動作しない可能性があるため、押し手ごたえのある押し込み式ボタンに装置を変更します。

- |       |                                       |              |
|-------|---------------------------------------|--------------|
| R5年度  | 上永谷8台、吉野町4台、高島町6台、横浜4台、予備品2台          | (4駅22台、予備2台) |
| ◎R6年度 | 湘南台6台、立場6台、踊場6台、関内6台、桜木町4台            | (5駅28台)      |
| R7年度  | 下飯田6台、中田6台、上大岡4台、センター南4台、あざみ野4台、予備品2台 | (5駅24台、予備2台) |
- 以後、令和10年度まで29駅で実施



図1: 緊急停止装置(既設)



図2: 緊急停止装置(改修後)

(2 前年度から変更・見直した点)

ほとんどの駅で設置後20年が経過(特に、踊場～湘南台間は25年が経過)しており、改修のペースアップが必要なため、年4駅実施から5駅実施に変更します。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有  
 無

(5 補助対象の有無)

- 有  
 無

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、成嶋、辻、和田

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
<b>35 4号線ホーム柵延命化のための部分更新</b>	0

(1 事業目的・内容)

可動式ホーム柵は、プラットホームにおけるお客様の転落や列車との接触防止、また車両の戸挟みによる引きずり事故の防止のため、自動列車運転装置 (ATO) を経由して車両と通信し、車両ドアと連動してドア開閉を行う装置です。  
 グリーンラインの可動式ホーム柵は、平成20年3月に設置開始してから14年が経過しています。  
 平成30年度から令和2年度にかけて、オーバーホールを実施し延命化を図っていますが、非常解錠ボタンおよび緊急停止ボタンについては、この作業の中では交換されていません。  
 令和2年度には経年劣化した非常解錠ボタンが原因で障害が発生した実績があります。  
 令和3年10月に他事業者で発生した車内傷害事件において、緊急事態発生時に可動式ホーム柵を軌道側から手動で開けることの重要さが改めて認識されており、非常解錠ボタンが確実に動作することが必要です。  
 また、緊急停止ボタンについては、お客さまのホームからの転落や荷物等の投げ込みをはじめとして、列車を緊急に停止させる必要が生じた際に確実に動作することが必要です。  
 これらの理由から、今回非常解錠ボタンおよび緊急停止ボタンの交換を実施します。



- ・非常解錠ボタン交換 48個 × 10駅 = 480個
- ・緊急停止ボタン交換 4個 × 10駅 = 40個

なお、本件は令和5年度に実施予定でしたが、資材の長納期化の影響により、令和6年度に改めて実施を予定するものです。

(2 前年度から変更・見直した点)

なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」第9章 第87条 施設及び車両の保全  
 横浜市高速鉄道信号通信設備整備心得

(4 除却資産の有無)

- 有  
 無

(5 補助対象の有無)

- 有  
 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費	20,779					
債務負担設定						

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、成嶋、辻、和田

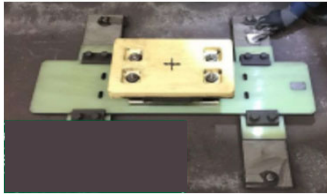
(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	6年度予算額
<b>36 1・3号線自動列車運転装置(ATO)地上子更新</b>	

(1 事業目的・内容)

自動列車運転装置(ATO)とは、列車のワンマン運転を支援するための装置であり、列車の自動的な加速・減速、駅での定位置停止、可動式ホーム柵の開閉制御、乗降促進放送の制御等を実現するための装置です。

ブルーラインのATO装置は設置後約17年が経過しており、2年に1度のメーカーによる点検において地上子(線路上に設置されている地上と車両で情報の授受を行う機器)に経年による発錆や傷が確認されているため、地上子の交換を行うことで装置全体の延命化を図ります。



正常な地上子



傷の様子



発錆の様子

(2 前年度から変更・見直した点)  
新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)  
「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」第9章 第87条 施設及び車両の保全  
横浜市高速鉄道信号通信設備整備心得

(4 除却資産の有無)

有  
 無

(5 補助対象の有無)

有  
 無

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 電気課 担当者名: 関口、成嶋、辻、和田

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
37 電子交換機更新委託(センター北)	308,506

(1 事業目的・内容)

鉄道電話(固定・PHS)は、ブルーライン、グリーンライン、車両基地、ずい道内の全箇所を設置されています。これらは、駅の業務、総合司令所からの指令業務、及び保守業務等に24時間使用されていて、お客様サービス、運行サービス、及び保守作業において必要不可欠な設備です。

この鉄道電話網を構成する機器の内、センター北駅に設置の電話交換機は今年度で導入後17年が経過(機器寿命が15年)し、PHS制御装置は今年度で導入後17年が経過(機器寿命が12年)しています。これらの設備は、機器寿命が過ぎており、正常な動作が保証できない状況となっています。また、メーカー保守部品の製造が終了しており、故障が発生した場合は、長期間の動作停止となります。特にセンター北交換機が故障した場合、GL全ての鉄道電話・PHSが使用できなくなるため、予防保全を行います。

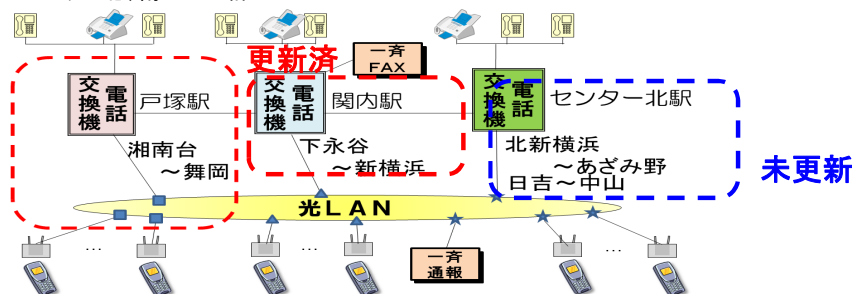
【内訳】

項目	数量	単位
交換機一式	1	式
工事作業	1	式
SE・現地調整費	1	式

【交換機比較】

交換機	鉄電収容駅数			鉄電回線数	PHSアンテナ数
	BL	GL	合計		
戸塚交換機	7駅	-	7駅	416	178
関内交換機	18駅	-	18駅	144	198
センター北交換機	7駅	8駅	15駅	270	325

\* センター北、南はBLに計上



(2 前年度から変更・見直した点)

なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

信号通信設備整備心得  
通信設備更新計画

(4 除却資産の有無)

有  
 無

(5 補助対象の有無)

有  
 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費		308,506				308,506
債務負担設定	309,587					309,587

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、成嶋、辻、和田

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
<b>38 放送装置更新工事(高島町・吉野町)</b>	<b>33,000</b>

(1 事業目的・内容)

【目的】

老朽化した放送設備では修理部品が製造中止となり、故障が発生した場合は長時間に渡り駅全体の放送が停止してしまいます。また、非常放送装置が停止すると、火災時等の警戒放送ができなくなり、乗降促進放送も鳴動しなくなり、消防法違反と列車運行支障となります。よって、放送設備の機能を維持し、駅の放送業務と旅客案内サービスを維持します。

【目標】

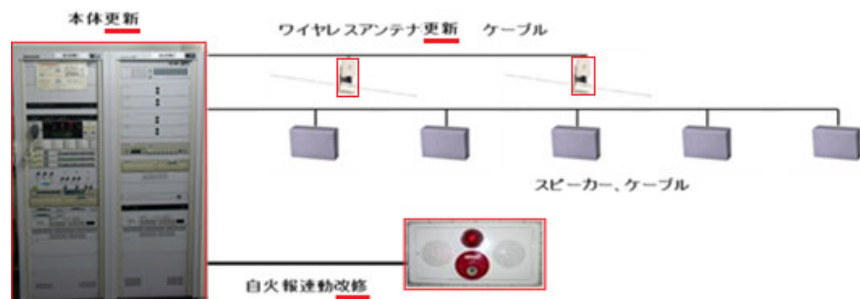
機器の更新について、推奨更新周期が12年です。今後は故障頻度の多くなる15年～18年程度を目安に更新計画表をもとに更新を行います。軽度な不具合等が出た場合は、部品の交換・修理等することで機器の延命措置をしてきましたが、設置後16年以上が経過している高島町・吉野町については、R5年度に更新の発注を行い、R6年度に完成する予定です。

【課題】

現在の放送設備は現行消防法に対応済みのため最小限の設備の更新とし、スピーカーやスピーカーケーブルは既設を再使用してコスト縮減を図りつつ、計画的に放送装置の更新を進捗させます。

【機器構成】

非常放送機・本体	更新
スピーカー	対象外
ケーブル類	対象外
ワイヤレス機器	更新
自火報連動盤	改修



【更新計画】

R4年度	R5・R6年度	R6・R7年度	R7・R8年度	R8・R9年度	R9・R10年度	R10・R11年度
戸塚 R04更新	高島町 R06更新予定	中山 H19導入	センター南 H19更新	川和町 H19導入	横浜 H20更新	あざみ野 H24更新
	吉野町 R06更新予定	日吉本町 H19導入	北山田 H19導入	都筑ふれあいの丘 H19導入	センター北 H19更新	中川 H24更新
事業費	55,000					

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)  
消防法および横浜市火災予防条例

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

■ 有  
□ 無

□ 有  
■ 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費	22,000	33,000				55,000
債務負担設定	33,000					33,000

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、成嶋、辻、和田

(単位：千円)

**【事業内容】** 6年度予算額

**39 放送装置更新(中山他1駅)**

(1) 事業目的・内容

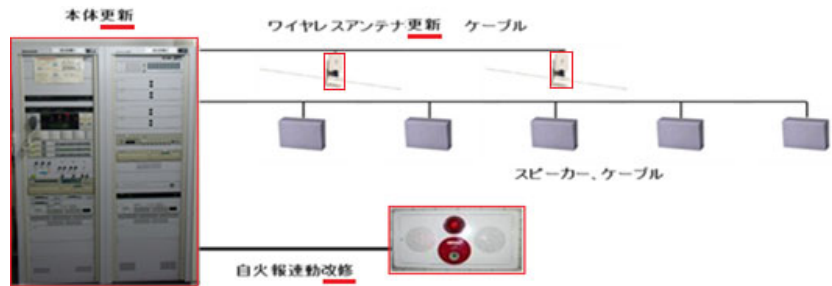
【目的】  
 老朽化した放送設備では修理部品が製造中止となり、故障が発生した場合は長時間に渡り駅全体の放送が停止してしまいます。また、非常放送装置が停止すると、火災時等の警戒放送ができなくなり、乗降促進放送も鳴動しなくなり、消防法違反と列車運行支障となります。  
 よって、放送設備の機能を維持し、駅の放送業務と旅客案内サービスを維持します。

【目標】  
 機器の更新について、推奨更新周期が12年です。今後は故障頻度の多くなる15年～18年程度を目安に更新計画表をもとに更新を行います。  
 軽度な不具合等が出た場合は、部品の交換・修理等することで機器の延命措置をしてきましたが、設置後16年以上が経過している中山駅他1駅については、R6年度に更新の発注を行います。

【課題】  
 現在の放送設備は現行消防法に対応済みのため最小限の設備の更新とし、スピーカーやスピーカーケーブルは既設を再使用してコスト縮減を図りつつ、計画的に放送装置の更新を進捗させます。

【機器構成】

非常放送機・本体	更新
スピーカー	対象外
ケーブル類	対象外
ワイヤレス機器	更新
自火報運動盤	改修



【更新計画】

R4年度	R5・R6年度	R6・R7年度	R7・R8年度	R8・R9年度	R9・R10年度	R10・R11年度
戸塚 R04更新	高島町 R06更新予定	中山 H19導入	センター南 H19更新	川和町 H19導入	横浜 H20更新	あざみ野 H24更新
	吉野町 R06更新予定	日吉本町 H19導入	北山田 H19導入	都筑ふれあいの丘 H19導入	センター北 H19更新	中川 H24更新
事業費	55,000					

(2) 前年度から変更・見直した点  
 施工時期平準化を目的とした施工期間1年未満工事の債務負担設定を適用

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等)  
 消防法および横浜市火災予防条例

(4) 除却資産の有無)

(5) 補助対象の有無)

■ 有  
 □ 無

□ 有  
 ■ 無

(6) 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、成嶋、辻、和田

(単位：千円)

【事業内容】	6年度予算額
40 ITVカメラネットワーク化工事(横浜駅ほか)	95,474

(1 事業目的・内容)

【目的】

現在、GL全駅とBL主要駅のホーム映像は司令所から監視することができますが、今後はその対象を拡大し、司令所がいち早く駅の状態を把握し、乗務員や駅係員に的確な指示が出来るよう整備していきます。  
また、お客様が駅構内で不審物や不審者を発見した場合や、トラブル発生時、急病人を見かけた際に、迅速に駅係員に連絡が出来るよう連絡手段を確保します。

【目標】

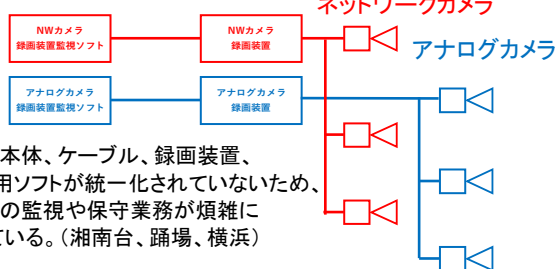
・BLの駅は非監視部が多く存在するため、ホームを含め監視範囲を増加させます。  
・BLではアナログカメラとネットワークカメラが混在している駅があり、カメラの監視や保守業務が煩雑になっています。また、現在設置されているアナログカメラは老朽化がすすみ、故障が発生した場合はカメラが長期間停止する場合があります。  
そこで、ネットワークカメラに更新・統合することにより、監視機能の強化及び効率化を図りつつ、高画質化します。

【課題】

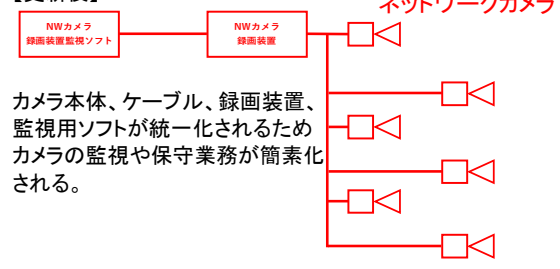
現在設置されているアナログカメラは製造が終了している物もあり、故障が発生した場合は長期間監視できない場所が生じます。このため、ITVカメラのネットワークカメラ化を順次進めていきます。令和6年度は、引き続き更新計画に基づき、横浜駅、踊場駅、湘南台駅、三ツ沢上町駅、三ツ沢下町駅、高島町駅についてITVの更新とインターホンの設置を行います。  
また、ネットワークカメラ化のために構築する駅構内のネットワークを利用し、IPインターホンを設置します。



【現状】



【更新後】



R5・R6予定	R6・R7予定	R7・R8予定	R8・R9予定
三ツ沢上町	中川	仲町台	関内
三ツ沢下町	伊勢佐木長者町	新羽	上永谷
横浜	吉野町	北新横浜	下永谷
高島町	蒔田	岸根公園	舞岡
踊場	弘明寺	片倉町	中田
湘南台	センター北	港南中央	下飯田
	センター南		

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

■ 有  
□ 無

□ 有  
■ 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費	63,649	95,474				159,123
債務負担設定	95,474					95,474

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、成嶋、辻、和田

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
41 ITVカメラネットワーク化工事(仲町台駅ほか)	

(1 事業目的・内容)

【目的】

現在、GL全駅とBL主要駅のホーム映像は司令所から監視することができますが、今後はその対象を拡大し、司令所がいち早く駅の状態を把握し、乗務員や駅係員に的確な指示が出せるよう整備していきます。  
また、お客様が駅構内で不審物や不審者を発見した場合や、トラブル発生時、急病人を見かけた際に、迅速に駅係員に連絡が出来るよう連絡手段を確保します。

【目標】

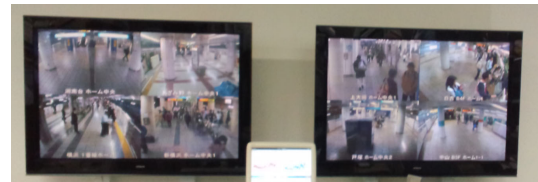
・BLの駅是非監視部が多く存在するため、ホームを含め監視範囲を増加させます。  
・BLではアナログカメラとネットワークカメラが混在している駅があり、カメラの監視や保守業務が煩雑になっています。また、現在設置されているアナログカメラは老朽化がすすみ、故障が発生した場合はカメラが長期間停止する場合があります。  
そこで、ネットワークカメラに更新・統合することにより、監視機能の強化及び効率化を図りつつ、高画質化します。

【課題】

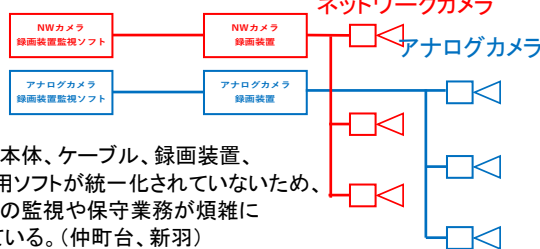
現在設置されているアナログカメラは製造が終了している物もあり、故障が発生した場合は長期間監視できない場所が生じます。このため、ITVカメラのネットワークカメラ化を順次進めていきます。令和6年度は、更新計画に基づき、仲町台駅、新羽駅、北新横浜駅、岸根公園駅、片倉町駅、中田駅についてITVの更新とインターホンの設置を行います。  
また、ネットワークカメラ化のために構築する駅構内のネットワークを利用し、IPインターホンを設置します。



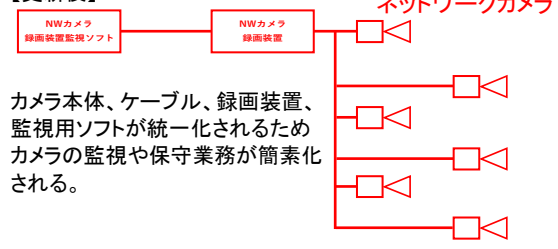
駅の状況を、既設ネットワークを利用して司令所や駅事務室で監視



【現状】



【更新後】



R5・R6予定	R6・R7予定	R7・R8予定	R8・R9予定
三ツ沢上町	仲町台	中川	センター北
三ツ沢下町	新羽	伊勢佐木長者町	センター南
横浜	北新横浜	吉野町	関内
高島町	岸根公園	蒔田	上永谷
踊場	片倉町	弘明寺	下永谷
湘南台	中田	港南中央	舞岡
			下飯田

(2 前年度から変更・見直した点)

施工時期平準化を目的とした施工期間1年未満工事の債務負担設定を適用

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
- 無

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						



令和6年度 建設改良費 事業計画書

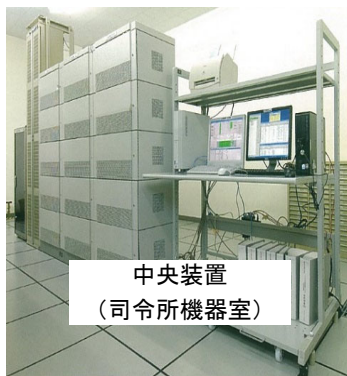
予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、成嶋、辻、和田

(単位：千円)

【事業内容】	6年度予算額
42 4号線列車無線装置更新	0

(1 事業目的・内容)

- グリーン列車無線装置  
列車無線装置は、安全の確保と円滑な運行管理を保つために司令所一列車間で情報を伝達するための無線装置です。通話以外の主な機能として、
  - ・ 一斉停止(司令所から全列車を緊急停止させる)
  - ・ 非常通報(乗客が客室に設置されている非常通報装置から司令所を呼び出す)
  - ・ 一斉放送(司令所から各列車に一斉に放送する)
  - ・ 地震通報(地震発生時に各列車へ自動通報する)
  - ・ 防護発報(事故発生時等、運転士が近辺の列車を停止させる。ワンマン運転での必須機能)
 等があります。
- 地上装置更新について  
本装置は平成19年3月の開業以来使用しており、現行の列車無線装置に対応できる携帯防護無線機の増設・修理が困難となっています。  
携帯防護無線機が不足するとグリーンラインでワンマン運転が行えず、運用に多大な影響を及ぼします。  
また中央装置・基地局等の地上装置も老朽化していることから、これらの機器を更新します。



【事業計画】

年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
経過年数	17	18	19	20
地上装置	機器製作	機器設置	試験調整	★新旧切替 旧装置撤去

(2 前年度から変更・見直した点)

新規

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令 60条

(4 除却資産の有無)

- 有  
 無

(5 補助対象の有無)

- 有  
 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和6年度 建設改良費 事業計画書

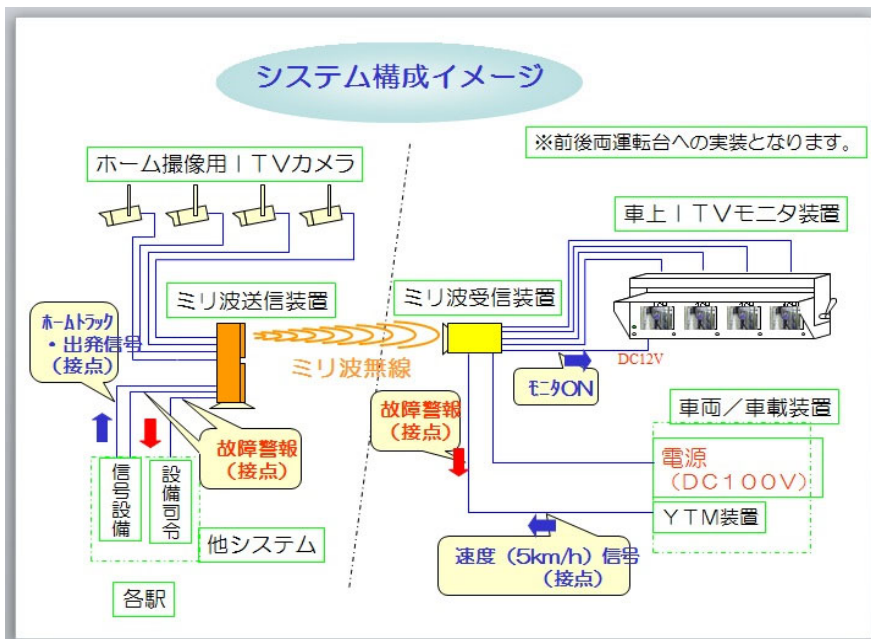
予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、成嶋、辻、和田

(単位：千円)

【事業内容】	6年度予算額
43 1・3号線対列車画像伝送装置更新工事	0

(1 事業目的・内容)

本設備はワンマン運転の支援設備で、ホーム撮影用ITVカメラで撮影したお客様の乗降画像を、ミリ波送信装置を使用した無線電波で車上传送するものです。運転士は、運転台の車上TVモニター装置に映し出される映像を確認し、ホーム柵及び列車ドアの開閉操作を行います。現在ミリ波送信装置は設置から16年経過しています。また、CCTVカメラは更新してから8年経過しています。そのため故障頻度が高くなっており、保守作業(メンテナンス)に支障が生じている状況です。また、対列車画像伝送装置が故障するとワンマン運転に支障が生じ、列車の定時運行に影響を及ぼします。そのため、ミリ波送信機、CCTVカメラ、録画装置、分岐架(カメラ映像分配器)を更新します。なお、コロナ禍の影響によりミリ波送信装置は機器納期に2年を要するため、1・3号線全線の更新には計4年間を要することを見込んでいます。



【CCTVカメラ】



【ミリ波送信機】



(2 前年度から変更・見直した点)  
更新計画の見直し

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)  
信号通信設備整備心得

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

■ 有  
□ 無

□ 有  
■ 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、成嶋、辻、和田

(単位：千円)

【事業内容】	6年度予算額
44 列車接近警報装置更新	

(1 事業目的・内容)

概要

列車接近警報装置は、営業中に保守作業員が軌道内に立ち入る際に端末を持ち運び、司令所中央装置から伝送された列車接近情報を基に各駅基地局の送信局から端末に列車接近を警報し、保守作業員が安全に待避するための装置です。

列車接近警報装置は、設置からBLで14年、GLで10年が経過しており、遠隔監視装置やPLC(制御装置)の修理ができない状況になっているため、保守作業(メンテナンス)に支障が生じている状況です。

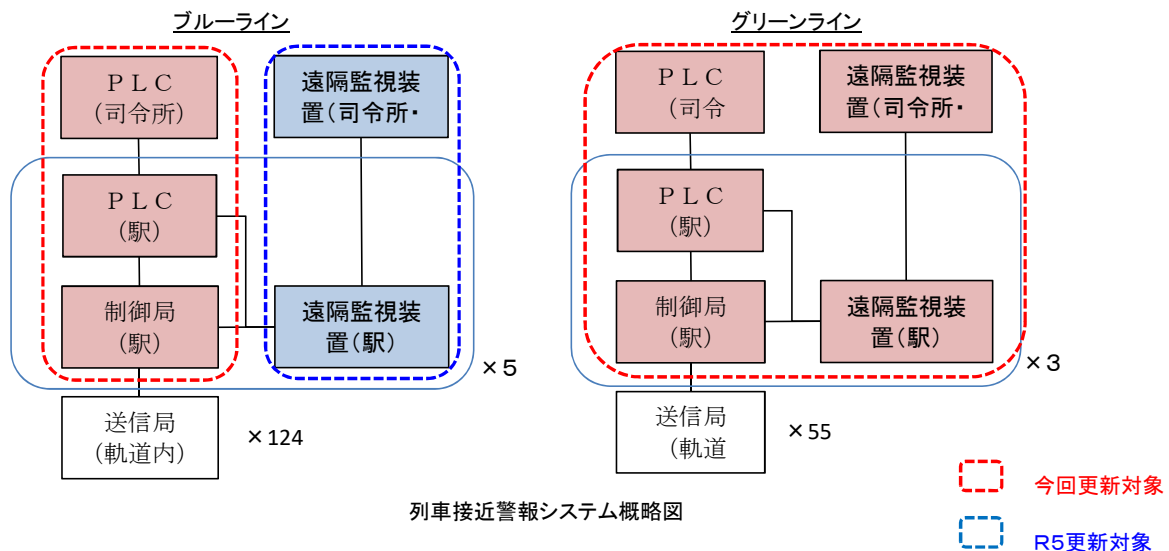
そのため装置の更新を行います。

更新計画

R5に主にサーバー・PCで構築されBL遠隔監視装置の更新を行います。(発注済)

R6は主PLC(制御装置)で構成されたBL・GLの全制御局と、GLの遠隔監視装置の更新を予定しています。

※当初はR6をBL、R7をGLの更新で計画していましたが、一括更新とすることにより費用を削減しました。



列車接近警報システム概略図

(2 前年度から変更・見直した点)

更新計画の見直し

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

信号通信設備整備心得

(4 除却資産の有無)

■ 有  
□ 無

(5 補助対象の有無)

□ 有  
■ 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費	87,010					
債務負担設定						

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、成嶋、辻、和田

(単位：千円)

【事業内容】	6年度予算額
45 保守用無線更新	

(1 事業目的・内容)

保守用無線局は、保守上の業務連絡に用いるほか、大規模災害発生時などの緊急連絡手段として、総合司令部や各保守管理所に通信所を置くほか、保守管理所の緊急自動車への車載局や携帯局などが配備されています。

しかし、

- 保守用の携帯無線機も14年経っている。
- 現在の機種は製造中止であり、修理パーツの供給体制に懸念が生じる。
- バッテリーの消耗が激しい。(バッテリーの交換は不可のため、新規購入しかない)

以上のことから、無線局の更新を計画的に進めていきます。

新携帯局無線機の仕様

- バッテリー容量が1.25倍になり、運用可能時間が延伸。
- デジタル・アナログ兼用なため、将来的にデジタル化に対応可能。
- 耐塵、防水構造。

標準構成

- ・無線機本体、キャリングケース、蓄電池パック、充電器、ベルトクリップ、外部スピーカーマイク (免許申請等含む)



写真例：携帯局無線機

●課題

・各保守管理所に配置している携帯局を古い物から順次更新していく。

保守用無線電話装置更新 (予定)

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
更新内容	・新羽構内 11局 (乗管、信号扱所)	・横浜交通4局 ・上永谷構内16局 (乗管、信号扱所)	・上永谷構内11局 (乗管、信号扱所)	横浜交通本部 基地局	・横浜交通上永谷基地局 ・新羽構内基地局
合計	11 局	20 局	11 局	1 局	2 局

●現況数量

・基地局 4局 【市庁舎25W、踊場10W、センター南10W、上永谷基地5W】

・移動局108局  
 (車載11局 (上永谷4局、新羽4局、川和3局) 【25W、10W】)  
 (携帯97局 (上永谷42局、新羽36局、川和16局、市庁舎3局) 【5W、1W】)

(2 前年度から変更・見直した点)  
携帯局をすべて5Wとし、順次更新していく。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)  
電波法施行規則第2条  
無線設備規則別表第3号

(4 除却資産の有無)

- 有
- 無

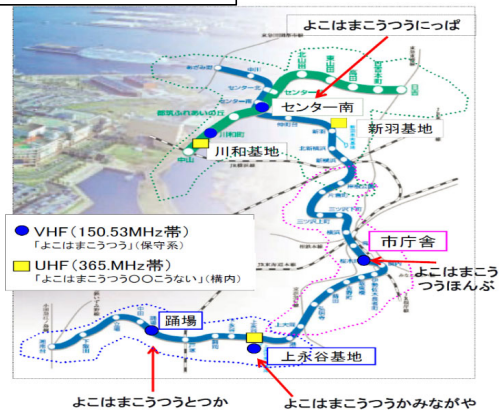
(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費	1,650					
債務負担設定						

●保守無線系統図  
(■構内無線系統図)



## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、成嶋、辻、和田

(単位：千円)

【事業内容】	6年度予算額
--------	--------

## 46 光LAN用無停電電源装置更新

## (1 事業目的・内容)

光LAN装置は、列車無線、指令電話、自動案内放送などの音声データや、設備指令、ATOなどのデータを伝送する基幹光伝送路を構成する装置です。装置本体を設置してから10年以上が経過し、前回の鉛蓄電池の更新からも5年が経過します。

無停電電源装置の機器寿命は10年であり、来年度は機器寿命を超えてしまうので、更新が必要です。

交換器は、自営PHS・鉄電・一斉FAXなどのデータを伝送する装置です。装置本体を設置してから20年経過し、機器寿命を大きく超過しているため更新が必要です。

このため、光LAN用無停電電源装置本体3台の購入・更新を行います。

## 光LAN用無停電電源装置 更新計画

単位：台

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
台数	5	5	3	4	6

## (2 前年度から変更・見直した点)

機器価格の高騰に伴う費用の増

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

所管電気区の要望

運転保安設備実施基準

信号通信設備整備心得

通信設備更新計画

## (4 除却資産の有無)

有  
 無

## (5 補助対象の有無)

有  
 無

## (6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費	10,928					
債務負担設定						

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、成嶋、辻、和田

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
<b>47 鉄道電話FAX子機更新</b>	

## (1 事業目的・内容)

鉄道電話FAXは、指令所・駅事務室・保守区に設置されており、他社線運行状況の連絡、振替輸送の連絡、工事や作業予定の連絡等に使用する重要な設備です。

また、各所に設置している一部のFAXについては、メーカー保守部品の供給期間が終了しており、故障発生時に修理が行えない状況です。今後、経年劣化により故障発生頻度が高まり、多数発生時にはFAXを使用できず、お客様案内や地下鉄保守作業に支障が生じる恐れがあります。

このため、更新計画に基づき、令和6年度は、10台の更新を行います。

上永谷電気区管内	全25台(内1台更新対象)
新羽電気区管内	全32台(内9台更新対象)
川和電気区管内	全14台(更新無し)
合計 全71台(内10台更新対象)	

## 【内訳】

項目	単位	単価	数量	合計
FAX子機	台		10	
税(10%)	式		1	
計				

## (2 前年度から変更・見直した点)

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

所管電気区の要望  
信号通信設備整備心得  
通信設備更新計画

## (4 除却資産の有無)

有  
 無

## (5 補助対象の有無)

有  
 無

## (6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口、成嶋、辻、和田

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
48 早期地震警報システム更新	

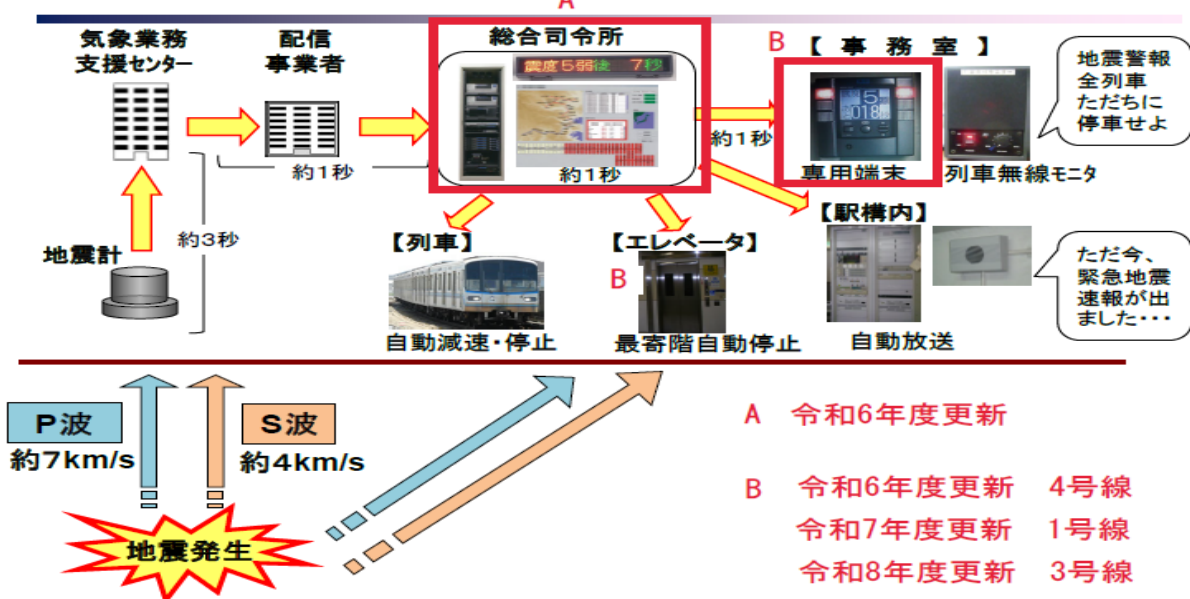
(1 事業目的・内容)

早期地震警報システムは、気象庁から発信される「緊急地震速報」を利用し、横浜市交通局も路線全域において被害が発生する前に列車に自動通報するものであり、沿線における被害の可能性を判断し、沿線で揺れる前に列車の停止措置等を行うことによる減災を図るものです。

早期地震警報システム地震端末が故障して、修理で対応して来ましたが、ここ数年、故障頻度が上昇するなかで、令和5年に生産終了かつ修理不可の状況です。また、総合司令所内の配信サーバーも老朽化しているため更新します。

## 早期地震警報システム 概要

1



(2 前年度から変更・見直した点)  
なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)  
電気区の要望  
通信設備更新計画

(4 除却資産の有無)

有  
 無

(5 補助対象の有無)

有  
 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：望月、近藤、日比野

(単位:千円)

	6年度 A	5年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	2,355,114	2,150,617	204,497

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	6年度予算額
1 早期運行再開のための耐震補強	251,436

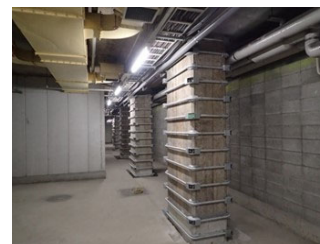
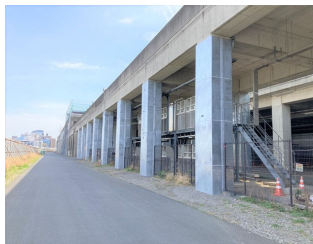
(1 事業目的・内容)

阪神・淡路大震災以前に構築された構造物については、旧運輸省通達により、耐震補強としてラーメン高架橋・橋脚のRC柱、開削トンネルRC中柱の補強及び橋りょうの落橋防止対策を平成7年～15年度に実施して完了しています。  
平成25年度からは、首都圏で想定されている大規模地震が発生した際に、列車が早期に運行再開するための耐震補強を実施しています。

早期運行再開のための耐震補強

- 事業区間 戸塚駅～あざみ野駅
- 耐震補強対象構造物 【高架部】ラーメン高架橋、橋脚 【地下部】開削トンネル
- 耐震補強の進め方 ①耐震補強の必要性を判断 (H25年度に実施)  
②耐震補強工事の詳細設計 (H25年度から随時実施)  
③耐震補強工事の施工 (H27年度から随時実施)

	H25年度～H27年度	H28年度～R5年度	R6年度	R7年度以降
詳細設計				
工 事				
【高架部】ラーメン・橋脚				
【地下部】開削トンネル				



(2 前年度から変更・見直した点)

早期運行再開のための耐震補強は、経営状況及び補助金交付状況を考慮しながら引き続き事業を進めます。  
令和6年度は、新規工事を発注するとともに、令和5年度に引き続き令和6年度以降に補強する柱を対象に設計委託を発注します。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

特定鉄道等施設に係る耐震補強に関する省令

(4 除却資産の有無)

有  
 無

(5 補助対象の有無)

有  
 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事 業 費	12,600	251,436				2,244,036
債務負担設定		519,742				2,019,742



令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：望月、近藤、日比野

(単位:千円)

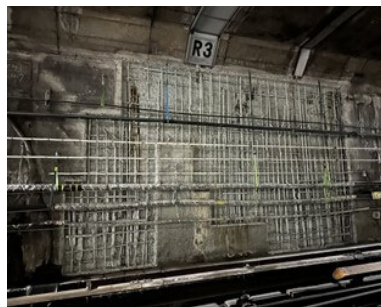
【事業内容】	6年度予算額
2 構造物コンクリート剥離箇所補修工事	327,680

(1 事業目的・内容)

主に塩害により劣化した構造物において計画的に補修を行うため、構造物検査や日常点検の結果から選定した補修箇所について、補修方法を設計し、その後補修工事を行います。



▲劣化状況



▲補修状況

	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度以降
設計委託		R5構築委託	R6構築委託		
補修工事		R4構築補修工事			
			R5構築補修工事		
				R6構築補修工事	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有  
 無

(5 補助対象の有無)

有  
 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費	650,100	327,680				2,957,780
債務負担設定	521,400	702,400				3,003,800

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：望月、近藤、日比野

(単位：千円)

【事業内容】	6年度予算額
3 宮元町シールドトンネル補修工事	832,010

## (1 事業目的・内容)

吉野町～蒔田間の宮元町シールドトンネルは、開業後50年以上経過しており、主に塩害による経年劣化が見られるため、列車運行の安全性維持を目的として、計画的に補修を行っています。

## 宮元町シールドトンネルの補修計画

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
調査・設計委託	上下線							
補修工事	上下線							



▲RCセグメントの劣化状況



▲ダクタイルセグメントの劣化状況

## (2 前年度から変更・見直した点)

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## (4 除却資産の有無)

有  
 無

## (5 補助対象の有無)

有  
 無

## (6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費	582,484	832,010	1,018,404			2,432,898
債務負担設定						

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：望月、近藤、山田

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
4 鳩害対策工事	

(1 事業目的・内容)

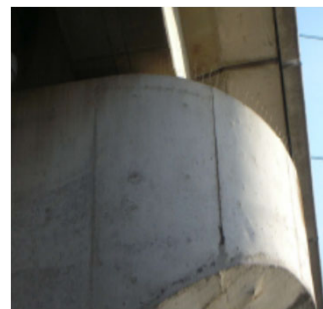
当局施設物に留まる鳩により、お客様や近隣住民への鳩フン被害が発生しているため、橋梁構造物等に鳩除け設備(ネット、スパイク)を設置し、鳩害対策を実施します。



鳩フン被害状況



鳩除けネット対策



鳩除けスパイク対策

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有  
 無

(5 補助対象の有無)

有  
 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費	6,050					45,383
債務負担設定						44,000

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：望月、近藤、深堀

(単位：千円)

【事業内容】	6年度予算額
5 局所有の排水管補修工	

## (1 事業目的・内容)

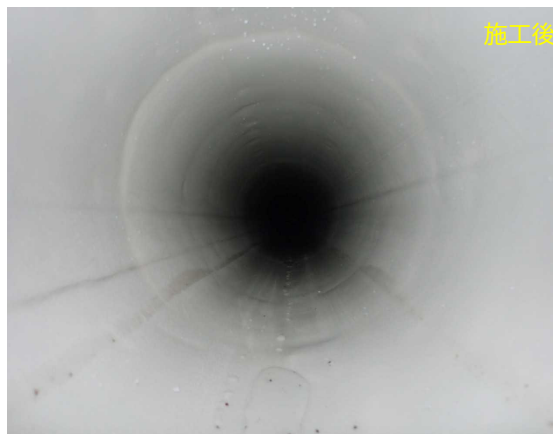
地下部の駅施設やポンプ室等から排出される汚水・排水は、地下から地上へポンプアップされたのち、高架部では樋で地上へ導水・集水したのち、歩道下や道路下に敷設された局所有の排水管により公共下水道へ排出されます。

この局所有排水管は開業時から定期的な点検調査や補修工事を行っておらず、令和元年度に高島町駅付近の局所有排水管で破損が発生し緊急補修したことを期に、令和2年度に一部の局所有排水管の調査を実施し「クラック」「管の継手ずれ」等の補修が必要な管を複数確認しました。そのため、令和4年度に管更生による補修を実施し、令和5年度以降も計画的に補修工事を実施していきます。

調査委託の結果を基に補修の優先順位を決め、また、予算の配分を考慮しながら計画的に対応していきます。



施工前



施工後

## (2 前年度から変更・見直した点)

管更生工法が適用できない箇所は開削工法で対応します。

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## (4 除却資産の有無)

有  
 無

## (5 補助対象の有無)

有  
 無

## (6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費	10,000					48,553
債務負担設定						49,557

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：望月、近藤、深堀

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
6 平沼町シールドトンネル補修工事	

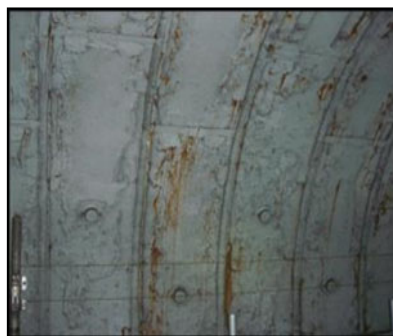
## (1 事業目的・内容)

高島町～横浜間の平沼町シールドトンネルは、昭和51年の開業から長期間経過しており、塩害及び経年による劣化が見られるため、列車運行の安全性維持を目的として計画的に補修を行っています。下り線は先行して平成25年に調査・設計を行い、補修工事を平成27年度～30年度の期間で実施しました。

今後は上り線及び下り線の未補修区間に対応するため、劣化状況を調査し結果に基づき補修及び補強の設計を行います。



▲ダクタイルセグメントの劣化状況



▲合成セグメントの劣化状況

## (2 前年度から変更・見直した点)

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## (4 除却資産の有無)

有  
 無

## (5 補助対象の有無)

有  
 無

## (6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費	12,000					2,440,000
債務負担設定						2,378,000

令和6年度 建設改良費 事業計画書

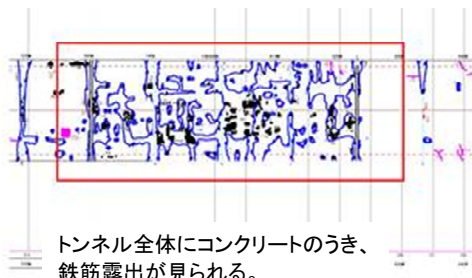
予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：望月、近藤、天野

(単位:千円)

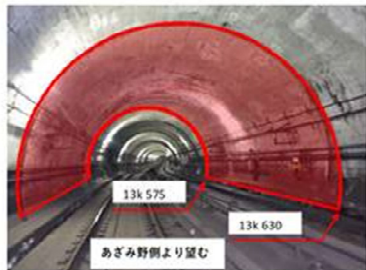
【事業内容】	6年度予算額
<b>7 山岳トンネル補修工事</b>	

(1 事業目的・内容)

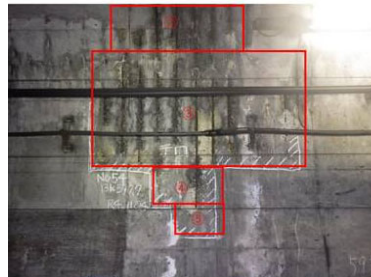
新羽～仲町台間の北の谷山岳トンネルは、開業後30年経過しており、コンクリートの浮き、ひび割れ等、経年劣化がみられるため、列車運行の安全性維持を目的として、補修を行います。



天井部



側壁部



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有  
 無

(5 補助対象の有無)

有  
 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						



令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：千葉、鍵和田

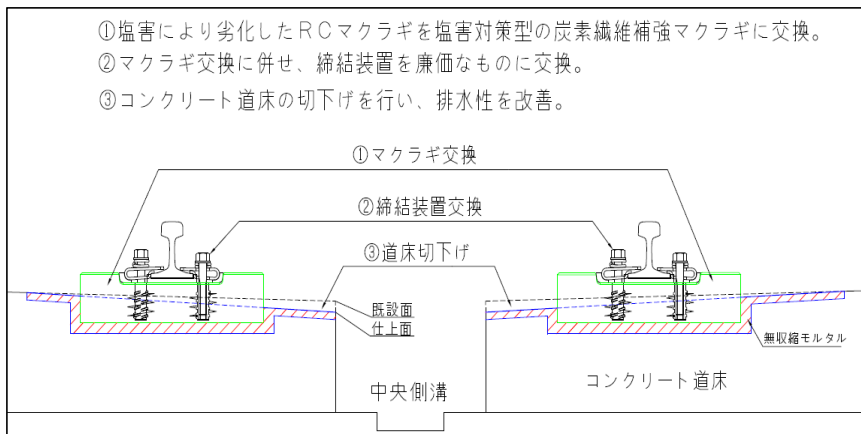
(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
9 横浜・三ツ沢下町間(上下)軌道改良工事	242,000

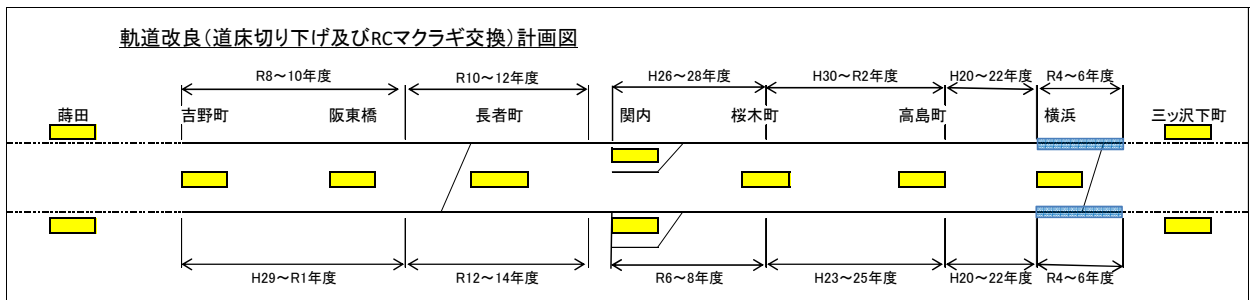
(1 事業目的・内容)

当該区間は海に近接しているため、漏水に含まれる塩分濃度が高く、塩害による鋼材の腐食により、レール、マクラギ、締結装置の損傷が著しく、列車走行の安全を確保することが困難な状況となっています。よって新しい軌道構造をもつ軌道への更新工事を行います。本工事は、令和4年度上半期より工事に着手し、令和6年度に完成予定となっています。

(概要) 軌道の防錆能力を向上させるため、マクラギ、締結装置を交換します。また、コンクリート道床の排水性を改善します。



(計画) 本軌道改良事業は、塩害区間(横浜～吉野町間)の中で損傷の著しいか所を優先的にを行っています。



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有  
 無

有  
 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費	460,730	242,000				702,730
債務負担設定						



令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：千葉、新妻

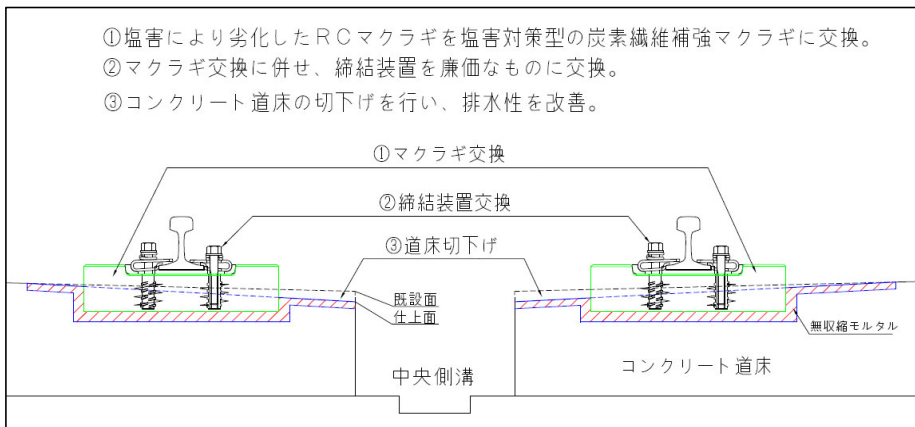
(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
10 関内・桜木町間(下り)軌道改良工事	94,000

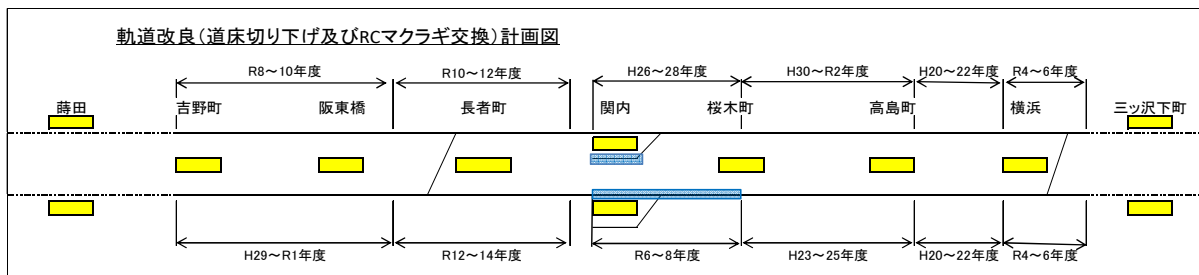
(1 事業目的・内容)

当該区間は海に近接しているため、漏水に含まれる塩分濃度が高く、塩害による鋼材の腐食により、レール、マクラギ、締結装置の損傷が著しく、列車走行の安全を確保することが困難な状況となっています。よって新しい軌道構造をもつ軌道への更新工事を行います。本工事は、令和6年度下半期より工事に着手し、令和8年度に完成予定となっています。

(概要)軌道の防錆能力を向上させるため、マクラギ、締結装置を交換します。また、コンクリート道床の排水性を改善します。



(計画)本軌道改良事業は、塩害区間(横浜～吉野町間)の中で損傷の著しいか所を優先的に行っています。



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有  
 無

(5 補助対象の有無)

有  
 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費	33,000	94,000				
債務負担設定						

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：千葉、岩崎

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
11 分岐器改良工事	172,647

(1 事業目的・内容)

交換計画について

・上永谷構内36・37分岐器改良工事(その3): 改良工事(全交換)【R6・7年度施工】

今回、全交換する上永谷36・37SC 8番シーサスクロッシングは、敷設から30年が経過しており、交換計画の25年を超えるため優先して交換を行うものです。なお、クロッシングをマンガン製から振動・騒音対策のための溶接に適したレール製に改良します。

債務負担について

・令和6年度契約予定の上永谷36・37分岐器改良工事の支払いのため、令和7年度に債務負担を設定しています。

≪交換計画≫

駅名	分岐器No.	R04年度 材料購入	R05年度	R06年度	R07年度	R08年度
上永谷	36・37SC			交 換		
新横浜	22					交換
	21イ					材料購入

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道土木実施基準、軌道整備心得、線路検査心得

(4 除却資産の有無)

有  
 無

(5 補助対象の有無)

有  
 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費	148,797	172,647				
債務負担設定	148,203					

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：千葉、佐藤

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	6年度予算額
12 工事用車両新規購入及び更新	42,482

(1 事業目的・内容)

現在1・3号線では保守作業用の「A型モーターカー」を3台所有しておりますが、使用年数が31年を迎え、今後の故障に対応する部品等の手配が不可能になるため、モーターカーの購入を行います。

工事用車両購入計画

車番	使用年数	R3	R4	R5	R6	R7
A-6	32年			契約 →	更新	
A-7	32年				契約 →	更新
A-8	32年	契約 →		更新		



写真1: A-6モーターカー



写真2: 購入予定モーターカーの型

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有  
 無

(5 補助対象の有無)

有  
 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費	36,080	42,482				
債務負担設定	55,123					

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：千葉、岩崎

(単位:千円)

【事業内容】 6年度予算額

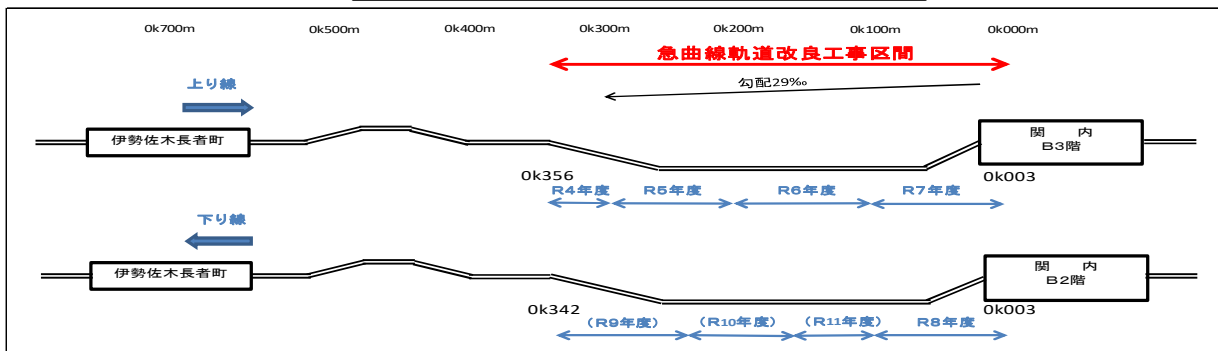
13 関内長者間急曲線軌道改良工事

(1 事業目的・内容)

関内～伊勢佐木長者町駅間の曲線区間(R125)は急曲線であることや塩害部区間であることから、近年損傷が発生しており、保守作業に多くの労力を要しています。  
安全性の向上及び保守作業の軽減を目的に、軌道部材の強化や防食等も含めた幅広い視点から実施した詳細設計をもとに検討した、軌道改良工事を実施します。



関内長者間急曲線軌道改良工事 計画表



事業費内訳

(千円)

	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度以降	総額
設計費	38,500	0	0					
材料費	0	11,068	8,784					
工事費	0	25,992	87,784					
合計	38,500	37,060	96,568					

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有  
 無

有  
 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費	96,568					696,220
債務負担設定	31,992					104,305

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：千葉、鍵和田

(単位:千円)

【 事業内容 】	6年度予算額
<b>14 継目部改良工事</b>	16,887

(1 事業目的・内容)

軌道は、通常1本あたり25mのレールを継目板によって繋ぎ合わせており、繋ぎ目の部分をレール継目部といいます。継目部は、列車の通過による衝撃が大きいため、継目板の切損や継目落ちが発生しやすく、これが増大すると列車の上下動が大きくなることで軌道破壊につながり、安全な列車の運行ができなくなります。また、振動、騒音が発生しているため、常に直営又は外注工事にて補修を行っています。

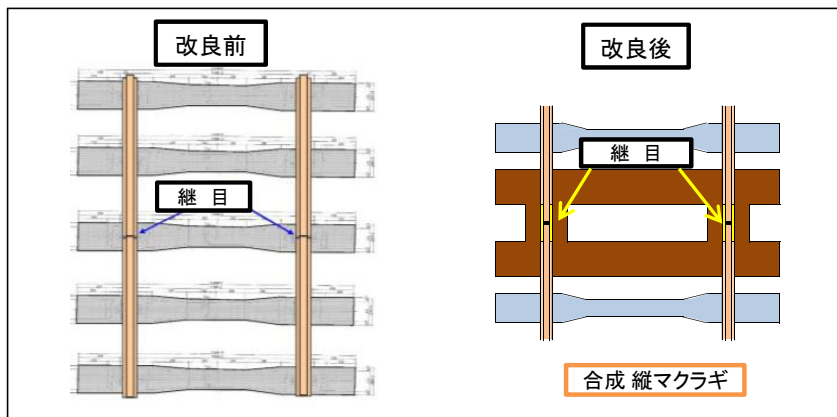
本工事は、継目落ち対策として、既存のまくらぎを合成縦まくらぎへ交換するもので、平成22年度より試験施工を行い、その後の経過観察において、継目落ちの解消が確認されていることから、平成25年度から計画的に継目落ちの著しい箇所の改良を行っています。毎年4か所ずつ行う計画としていましたが、来年度は現場調査の結果優先的に行うべきと判断された2か所の継目部改良を行います。



レール継目部



レール継目落ち



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有  
 無

(5 補助対象の有無)

有  
 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費	16,887					161,556
債務負担設定						

令和6年度 建設改良費 事業計画書

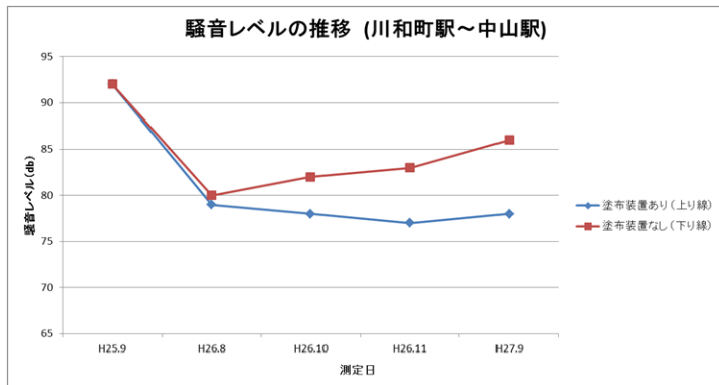
予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：千葉、菊池

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
<b>15 摩擦調整材機器設置</b>	

(1 事業目的・内容)

4号線ではレールのきしみ割れや波状摩耗の発生により生じた車内騒音に対して、ご意見をいただいております。そのため、レールのきしみ割れや波状摩耗を抑制する目的で、摩擦調整材塗布装置が設置されております。平成25年度に1台、平成27年度に1台、平成29年度に4台設置して合計6台が稼働中です。現在、設置した摩擦調整材の保守作業性の推移をみながら今後増設の予定です。



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有  
 無

(5 補助対象の有無)

有  
 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：西村・杉崎

(単位：千円)

【事業内容】	6年度予算額
<p><b>16 上永谷車両基地侵入防止対策システムに係るシステム更新</b></p> <p>(1 事業目的・内容) 上永谷車両基地では、令和元年度から同2年度にかけ「車両基地侵入防止対策システム」を構築し、運用しています。 本システム運用にあたり、令和元年度に購入した「システムサーバー、PC及び周辺機器」について、更新時期になるため、一式更新します。</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>(4 除却資産の有無) <span style="margin-left: 200px;">(5 補助対象の有無)</span></p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 有 <span style="margin-left: 100px;"><input type="checkbox"/> 有</span>  <input type="checkbox"/> 無 <span style="margin-left: 100px;"><input checked="" type="checkbox"/> 無</span> </p>	

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：春日、洞

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
<b>17 新羽施設区庁用車更新</b>	
<p>(1 事業目的・内容)</p> <p>新羽施設区庁用車については、平成12年度に購入して以来23年が経過しており、毎年、複数個所に不具合が発生し、過去5年間で約400千円をかけ修繕しています。</p> <p>修理業者からは今後使用するにあたり修繕や、部品交換を勧められているものの、費用を最小限するため対処療法的に対応している状況です。また、購入後18年超過しているため自動車重量税も負担増となっており、ランニングコストが高くなっています。</p> <p>当車両は貨物自動車であり、通常業務だけでなく、有事の際の荷物運搬に重要な役割を持ちます。つきましては、緊急対応が必要な際に現場へ急行できる態勢を整えるために、更新を行うこととします。</p> <p>更新にあたっては、環境創造局からの通知に基づき環境に低負荷な車両を購入します。</p>	
<p>(2 前年度から変更・見直した点)</p>	
<p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>令和5年4月2日付け環創エネ第1228号 令和5年3月29日付け環創エネ第1263号</p>	
<p>(4 除却資産の有無)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 有 1999-20-00378 <input type="checkbox"/> 無</p>	
<p>(5 補助対象の有無)</p> <p><input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>	



## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目		担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費		所属: 建築課
目: 05 改良費		担当者名: 横田、田中、三宅、武藤

(単位:千円)

	6年度 A	5年度 B	増△減(A-B)
予算額	2,081,859	4,367,124	△ 2,285,265

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
建1 新横浜駅改良工事	205,712

## (1 事業目的・内容)

新横浜駅では、神奈川東部方面線との接続により、利用する旅客数や流動、周辺地域などにおいて大幅な変化が予想されます。本工事は、このような神奈川東部方面線接続後に予想される旅客等の変化と、横浜の玄関口としてお客様を快適な空間でお迎えできるよう、レイアウト変更や内装改修を行うものです。

これまでに、相鉄新横浜線・東急新横浜線との接続や中央改札口の新設、トイレ、コンコースのリニューアルを行っています。

令和6年度は、第10出入口の建て替えおよびエスカレーターの更新を行い、全ての工事が完了となります。

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	工事概要
			ラグビーWC		オリンピック	ST線開業			
基本設計	基本設計(改良)	基本設計(9口)							
実施設計		実施設計(改良)		実施設計(9口)					
工事(前期工事)		工事							・電気室移設 ・換気機械室移設 ・旅客用手洗所改良 ほか
工事(前期その2工事)			工事						・JR側改札周辺内装 ・3口上屋 ・10口EV上屋改修 ほか
工事(後期工事)				工事					・新改札新設 ・仮眠室等駅務諸室改修 ・対向壁撤去新設 ほか
工事(後期その2工事)						工事			・出入口上屋新設 ・10口上屋改修 ほか

## (2 前年度から変更・見直した点)

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## (4 除却資産の有無)

## (5 補助対象の有無)

■ 有  
□ 無

□ 有  
■ 無

## (6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費	209,227	205,712				414,939
債務負担設定						

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 担当者名: 横田、田中、三宅、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
<b>建2 上永谷駅改良工事</b>	

## (1 事業目的・内容)

上永谷駅は、「市営交通 中期経営計画2023-2026」の中で「駅の大規模改良工事」として、まちの玄関口である駅のリニューアルをすすめています。

本事業では、施設の老朽化対策や各設備の更新に合わせ、駅務施設、トイレ、女性職員用施設、ホーム屋根等を含む改修を行い、お客様への快適な駅空間の提供や職員の執務環境の改善を図ります。

R5	R6	R7	R8	R9	R10
	基本計画				
		基本設計			
			実施設計		
				工事	

## (2 前年度から変更・見直した点)

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## (4 除却資産の有無)

有  
 無

## (5 補助対象の有無)

有  
 無

## (6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費	63,397					
債務負担設定	91,818					

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 担当者名: 横田、田中、三宅、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
--------	--------

**建3 桜木町駅出入口上屋改修工事**

(1 事業目的・内容)

桜木町駅内装改修その他工事(建築工事)において、出口1の天井仕上げを改修するにあたり、仕上げ材を解体した際、既存屋根の腐食が判明しました。既存屋根の状態からの補修は不可能であり、葺き替え等が必要となるため、桜木町駅内装改修その他工事(建築工事)では仮設天井の設置とコーキング打ち換えを実施しました。  
本工事は、既存屋根、仮設天井を撤去し、屋根を設置するものです。

現状写真

仮設天井



令和5年度	設計
令和6年度	工事

(2 前年度から変更・見直した点)

令和4年度に予定していた実施設計が2回契約不調となり、令和5年6月に契約となったため予定年次を変更しています。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有  
 無

(5 補助対象の有無)

有  
 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費	11,896					
債務負担設定						

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 担当者名: 横田、田中、三宅、武藤

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	6年度予算額
建4 手洗所改良その他工事	12,595

## (1 事業目的・内容)

センター南駅の旅客用手洗所は老朽化が進み、部分的な補修では対応することができなくなっています。そのため男女トイレおよび多機能トイレの改修工事を行います。  
また、本工事にあわせてコンコースの床すべり止め、軌道内鳥害対策その他工事も行います。

	令和5年度	令和6年度
伊勢佐木長者町		
センター南		工事

## (2 前年度から変更・見直した点)

令和4年度、5年度の2か年工事の予定であったが、契約不調のため、令和5年度、6年度工事に変更した。

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## (4 除却資産の有無)

有  
 無

## (5 補助対象の有無)

有  
 無

## (6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事 業 費	152,360	12,595				164,955
債務負担設定						

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目		担当	
款:	12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費	所属: 建築課	
目:	05 改良費	担当者名: 横田、田中、三宅、武藤	

(単位: 千円)

【事業内容】	6年度予算額
建5 職員用施設改修工事	97,650

## (1 事業目的・内容)

ブルーラインの各駅においては、女性用職員用施設(手洗所、更衣室、シャワー室)等が未整備の状況です。近年、女性駅務員が増えており、これに対応するため女性職員用施設の整備が必要となっております。また、女性乗務員も増えており、乗務管理所及び信号扱所の女性職員用施設の整備も必要となります。

令和6年度は、港南中央駅、上永谷信号扱所、新羽駅・乗務管理所において女性職員用施設の増設等の工事を行います。

	R5	R6	R7	R8
港南中央駅		工事		
上永谷 信号扱所		設計	工事	
新羽駅・ 新羽乗務 管理所		設計	工事	

## (2 前年度から変更・見直した点)

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## (4 除却資産の有無)

有  
 無

## (5 補助対象の有無)

有  
 無

## (6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費	281,358	97,650				
債務負担設定						

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担 当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 担当者名: 横田、田中、三宅、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
建6 職員用施設改修工事(設計)	37,866

(1 事業目的・内容)

市営地下鉄の各駅においては、女性用職員用施設(手洗所、更衣室、シャワー室)等が未整備の状況です。近年、女性駅務員が増えており、これに対応するため女性職員用施設の整備が必要となっております。また、女性乗務員も増えており、乗務管理所及び信号扱所の女性職員用施設の整備も必要となります。  
令和6年度は、上永谷信号扱所、新羽駅・乗務管理所、新羽保守管理所・信号扱所、総合指令所、川和乗務管理所において女性職員用施設の増設工事及び老朽化した設備の更新工事の設計を行います。

	R5	R6	R7	R8
上永谷 信号扱所		設計 → 工事		
新羽駅・ 新羽乗務 管理所		設計 → 工事		
新羽保守管 理所・新羽 信号扱所・ 総合指令所		設計 → 工事		
川和 乗務管理 所		設計 → 工事		

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有  
 無

(5 補助対象の有無)

有  
 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費	32,230	37,866	30,553			100,649
債務負担設定		30,553				30,553

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 担当者名: 横田、田中、三宅、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
建7 ブルーラインホーム改良工事	

(1 事業目的・内容)

現在、ブルーラインはプラットホームと車両床面との段差・隙間があり、車椅子利用等のお客様がご乗車される際は、駅職員の介助が必要となっています。  
令和元年10月にバリアフリー整備ガイドラインが改正され、段差・隙間の目安値が示されたことで、全国的に段差・隙間縮小に向けた動きが活発化しており、当局では令和3年度の東京オリンピック前に新横浜駅(4扉分)を施工し、令和4年度に新横浜駅以外のブルーライン全31駅の実施設計を行いました。令和5年度には上大岡駅を整備するほか、関内駅、桜木町駅、横浜駅、センター南駅の4駅の工事に着手し、令和6年度に完成予定です。  
また、令和6年度は別途新たに9駅を工事します。



新横浜駅施工状況(R4施工)

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有  
 無

(5 補助対象の有無)

有  
 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費	40,194					
債務負担設定						

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担 当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 担当者名: 横田、田中、三宅、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
建8 ガラス垂れ壁改修工事	55,140

(1 事業目的・内容)

令和3年6月に発生した蒔田駅ホーム天井部の防煙垂れ壁の落下を受け、当該垂れ壁の設置方法を見直す必要があることから、全面改修を行います。  
また、ホーム部に同様のガラス製垂れ壁が設置されている4駅(横浜駅、戸塚駅、立場駅、吉野町駅)のうち、横浜駅、戸塚駅、立場駅の補強工事を行います。  
なお、吉野町駅については、現在、軌道内対向壁解体工事に伴い仮設列車誘導無線が垂れ壁近接部に設置されているため、当該無線の撤去時期にあわせて補強工事を行います。

(単位:千円)

駅名	R5	R6	R7	R8	R9
対象5駅		調査・設計			
蒔田駅		改修工事			
横浜駅 戸塚駅 立場駅		補強工事			
吉野町駅					補強工事
計	30,667	55,140	66,243		

※予算額

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有  
 無

(5 補助対象の有無)

有  
 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費	30,667	55,140	66,243			152,050
債務負担設定		66,243				66,243



## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 担当者名: 横田、田中、三宅、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
--------	--------

## 建9 駅浴室改修工事

## (1 事業目的・内容)

横浜駅は開業から50年以上経過し、施設の各所が老朽化しています。特に職員用の浴室及び脱衣室は長年の使用と湿気により著しい劣化が生じているため、R5年度の実施設計を基に、浴室のシャワーユニットへの改修及び脱衣室の改修、これらに伴う設備の改修工事を行います。



横浜駅 浴室(左)及び脱衣室(右)の現況

令和5年度	令和6年度
設計	工事

## (2 前年度から変更・見直した点)

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## (4 除却資産の有無)

有  
 無

## (5 補助対象の有無)

有  
 無

## (6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費	27,998					
債務負担設定						

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 担当者名: 横田、田中、三宅、武藤

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	6年度予算額
-------------	--------

建10 関内駅漏水対策工事

(1 事業目的・内容)

関内駅では、コンコースやホーム、職員用施設など天井からの漏水が多数発生しており、お客様に多大なご迷惑おかけしている状態です。また、漏水箇所には仮の受樋を設置するなど、応急処置を施していますが、現状のままでは天井内の下地や機械設備、電気設備の不具合・腐食が発生するため、恒久的な処置として天井内での漏水対策が必要です。

令和6年度は、令和5年度に行っている設計委託に基づき、漏水受樋の設置工事および解体天井材の復旧工事を行います。



ホーム階天井からの漏水



出入口改札間 通路天井からの漏水

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有  
 無

(5 補助対象の有無)

有  
 無

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 担当者名: 横田、田中、三宅、武藤

(単位: 千円)

【事業内容】	6年度予算額
<b>建11 屋上防水更新工事</b>	

(1 事業目的・内容)

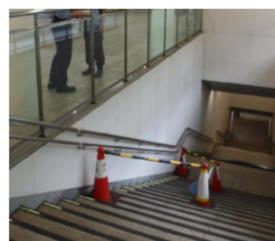
近年、地下鉄駅舎、車両基地の漏水の発生件数が増加しています。駅舎部での漏水の発生は、お客様にご迷惑をかけるとともに、転倒などのリスクもあります。また、保守用施設における漏水の発生により、施設内の機器の故障や、運行に必要な保守点検業務に影響がでている状態です。

施設の長寿命化に加え、お客様に快適な駅空間を提供できるよう、今後は計画的な屋上防水の更新を進めます。

(1)現況



立場駅(駅舎屋上部)



日吉本町駅(駅舎内部)

(2)事業スケジュール

現況で漏水が頻発している施設より改修を進める。

実施場所(内容)	R5	R6	R7
日吉本町駅(駅舎・避難階段 屋上防水)	設計	工事	
立場駅(駅舎・避難階段 屋上防水)	設計	工事	
新羽保守管理所(検車庫・事務所棟 屋上防水)		設計	工事

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有  
 無

(5 補助対象の有無)

有  
 無

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目		担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費		所属: 建築課
目: 05 改良費		担当者名: 横田、田中、三宅、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
建12 屋上防水更新工事(設計)	

## (1) 事業目的・内容

新羽保守管理所検車庫は、長年漏水に悩まされ、毎年補修工事を行っていますが、抜本的な解決には至らず、漏水が続いています。漏水の発生により、施設内の機器の故障や、運行に必要な保守点検業務に影響がでている状態です。

施設の長寿命化を行うため、屋根を設置するなどの改修工事を行い漏水を解消します。本年度は、改修工事の設計委託を行います。

## (1)現況



新羽保守管理所検車庫棟屋

## (2)事業スケジュール

現況で漏水が頻発している施設より改修を進める。

実施場所(内容)	R5	R6	R7
日吉本町駅(駅舎・避難階段 屋上防水)	設計	工事	
立場駅(駅舎・避難階段 屋上防水)	設計	工事	工事
新羽保守管理所(検車庫・事務所棟 屋上防水)		設計	工事

## (2) 前年度から変更・見直した点)

## (3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

## (4) 除却資産の有無)

有  
 無

## (5) 補助対象の有無)

有  
 無

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 担当者名: 横田、田中、三宅、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
<b>建13 日吉駅第1出入口天井改修工事</b>	
(1 事業目的・内容) <p>日吉駅第1出入口は、老朽化により天井材・下地が腐食しているため、改修工事を行います。</p>	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無) <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
(5 補助対象の有無) <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 担当者名: 横田、田中、三宅、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
建14 下飯田駅改良工事	

(1 事業目的・内容)

下飯田駅周辺で進行中の土地区画整理事業により、乗降客数の増加や駅を利用するお客様の動線の変化に対応するため、出入口改修を行い、お客様の利便性向上を図ります。令和5年度は、改修範囲や改修内容の設計を行い、令和6年度は、改修工事を行います。

(事業スケジュール)

年度	R5	R6	R7	R8	備考
下飯田駅改良工事	基本・実施設計	工事			



下飯田駅前土地区画整備事業写真

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有  
 無

(5 補助対象の有無)

有  
 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目		担当	
款:	12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費	所属: 建築課	
目:	05 改良費	担当者名: 横田、田中、三宅、武藤	

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
<b>建15 シャッター駆動装置等更新その他工事</b>	
(1 事業目的・内容)	
<p>駅構内に設置している防煙・防火シャッターについて、更新が必要な不具合が見られる開閉機(モーターを含む駆動に係る装置一式)の更新工事を行います。 また、建築基準法施行令の改正により、危害防止機構の設置が義務付けられましたので、合わせて新設、更新を行います。</p>	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 担当者名: 横田、田中、三宅、武藤

(単位: 千円)

【 事 業 内 容 】	6年度予算額
建16 軌道内対向壁解体工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

一・二次開業駅(上永谷～横浜)の塩害区間のうち老朽化が進んでいる駅や駅改良工事に併せて計画的に撤去及びリニューアルを行います。

	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
調査	横浜 桜木町 吉野町	高島町 伊勢佐木長者町					
設計			吉野町(解体)		伊勢佐木長者町 (解体)	伊勢佐木長者町 (解体)	
工事			関内(完了)※	上大岡※ 吉野町(解体) 阪東橋(完了)※	上大岡(完了)※ 吉野町(解体)	伊勢佐木長者町 (解体)※2	伊勢佐木長者町 (解体)※2

※ 改良工事にて実施  
※2 R6構築補修工事にて実施

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有  
 無

(5 補助対象の有無)

有  
 無



## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 担当者名: 横田、田中、三宅、武藤

(単位: 千円)

【事業内容】	6年度予算額
--------	--------

## 設1 エスカレーターのリニューアル

## (1 事業目的・内容)

お客様に安全かつ快適な設備をご利用いただき続けていくため、設置後長期間(30年)経過したブルーラインのエスカレーターを計画的に更新・リニューアルを実施します。

現在、ブルーラインには、稼動年数30年を超えるエスカレーターが85台あります。

これらのエスカレーターは、今後、経年劣化によって機能が低下し、さらに老朽化していく状況にあります。機能維持に要する保守部品の確保も困難になることが予想されるため、各駅各機種に応じた設備機能の改善とバリアフリー対応機能を付加したエスカレーターへのリニューアルを実施し、安全性や快適性・省エネ性を向上させます。

## ■ エスカレーターリニューアル計画

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
工事	下町(3台)			
		下町(4台)		
			上町(4台)	(4台)

## (2 前年度から変更・見直した点)

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## (4 除却資産の有無)

上町駅エスカレーター(R6:4台、R7:4台)

- 有 1984-20-00121(予定)  
 無 1984-20-00122(予定)  
 1984-20-00123(予定)  
 1984-20-00124(予定)

## (5 補助対象の有無)

- 有  
 無

## (6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費	207,207					
債務負担設定	113,256					

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 担当者名: 横田、田中、三宅、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
設2 エレベーターのリニューアル	

(1 事業目的・内容)

お客様に、より安全・安心かつ快適な設備をご利用いただき続けていくため、改正されている建築基準法の適合化を含め、計画的なエレベーターの更新を行います。

■エレベーターリニューアル計画

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
湘南台(1基)	工事			
* 新横浜(2基)	工事 (内1基新設)			
* 上大岡(4基)	工事 (内2基新設)			
仲町台(2基)	工事			
中川(3基)	設計	工事(R6:2基、R7:1基)		
桜木町(1基)	設計	工事		
北新横浜(1基)		設計	工事	
* 上永谷(3基)			設計	工事

\* 各改良工事にて計上

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有  
 無

(5 補助対象の有無)

有 (JRA事業補助)  
 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費	234,199					
債務負担設定						

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担 当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 担当者名: 横田、田中、三宅、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
--------	--------

設3 エレベーターのリニューアル(設計)

(1 事業目的・内容)

お客様に、より安全・安心かつ快適な設備をご利用いただき続けていくため、改正されている建築基準法の適合化を含め、計画的なエレベーターの更新を行います。

■エレベーターリニューアル計画

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
湘南台(1基)	工事			
* 新横浜(2基)	工事 (内1基新設)			
* 上大岡(4基)	工事 (内2基新設)			
仲町台(2基)	工事			
中川(3基)	設計	工事(R6:2基、R7:1基)		
桜木町(1基)	設計		工事	
北新横浜(1基)		設計	工事	
* 上永谷(3基)			設計	工事

\* 各改良工事にて計上

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有  
 無

(5 補助対象の有無)

有  
 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費	5,905					
債務負担設定						

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 担当者名: 横田、田中、三宅、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
設4 動力監視盤改修工事	

## (1 事業目的・内容)

地下鉄各駅及び車両基地には、換気空調設備・給排水消火設備・昇降機設備の運転・故障状況の管理監視また各設備のスケジュール自動運転を行うための、動力監視盤を設置しています。特に平成11年8月に開業した湘南台線各駅等に設置した監視盤では、稼働年数の経過による劣化が進行しており、部品供給も困難となるなど、復旧に遅れが生じ、監視機能を維持できなくなる可能性があります。この状態を放置し、監視盤が起動しなくなった場合、特にエレベーター・エスカレーター監視や空調スケジュール運転ができないなど、駅業務等に多大な支障を及ぼすため、計画的な更新を行います。

また、新羽車両基地においては、湘南台線、グリーンライン駅換気送風機等の遠方操作(効率管理)を行うための、遠隔システムを整備します。

実施駅(予定)	R5	R6 (予定)	R7 (予定)	R8 (予定)
下飯田		●工事		
立場	●工事			
中田	●工事			
伊勢佐木長者町	□設計	●工事		
新羽車両基地	□設計	●工事		
仲町台	●工事			
都筑ふれあいの丘				□設計
北山田			□設計	●工事
東山田			□設計	●工事
高田		□設計	●工事	
日吉本町		□設計	●工事	

## (2 前年度から変更・見直した点)

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## (4 除却資産の有無)

有  
 無

## (5 補助対象の有無)

有  
 無

## (6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費	120.469					
債務負担設定						

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 担当者名: 横田、田中、三宅、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
--------	--------

## 設5 動力監視盤改修工事(設計)

## (1 事業目的・内容)

地下鉄各駅及び車両基地には、換気空調設備・給排水消火設備・昇降機設備の運転・故障状況の管理監視また各設備のスケジュール自動運転を行うための、動力監視盤を設置しています。特に平成11年8月に開業した湘南台線各駅等に設置した監視盤では、稼働年数の経過による劣化が進行しており、部品供給も困難となるなど、復旧に遅れが生じ、監視機能を維持できなくなる可能性があります。この状態を放置し、監視盤が起動しなくなった場合、特にエレベーター・エスカレーター監視や空調スケジュール運転ができないなど、駅業務等に多大な支障を及ぼすため、計画的な更新を行います。

また、新羽車両基地においては、湘南台線、グリーンライン駅換気送風機等の遠方操作(効率管理)を行うための、遠隔システムを整備します。

実施駅(予定)	R5	R6 (予定)	R7 (予定)	R8 (予定)
下飯田		●工事		
立場	●工事			
中田	●工事			
伊勢佐木長者町	□設計	●工事		
新羽車両基地	□設計	●工事		
仲町台	●工事			
都筑ふれあいの丘				□設計
北山田			□設計	●工事
東山田			□設計	●工事
高田		□設計	●工事	
日吉本町		□設計	●工事	

## (2 前年度から変更・見直した点)

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## (4 除却資産の有無)

有  
 無

## (5 補助対象の有無)

有  
 無

## (6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費	2,816					
債務負担設定						

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 担当者名: 横田、田中、三宅、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
設6 排水ポンプほか更新工事	

## (1 事業目的・内容)

駅には、給水用、汚水用、中水(トイレ洗浄)用、またトンネル勾配に合わせ設置する排水(湧水)用ポンプがあり、各ポンプは設置から10年~40年以上が経過し、ポンプ本体及び配管・付属装置が老朽化しています。排水ポンプの突発的な故障は、湧水の排出ができなくなり列車の運行に支障を来す恐れがあり、また給水、汚水、中水ポンプの故障により、駅機能(主にトイレの使用不可)が低下するため、各ポンプが必要な機能を発揮できる状態に維持するため、ポンプ及び付属装置の更新工事を行います。

場所	対象機器	設置年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
湘南台駅	※1、2	H11	工事	工事	
広町中間	※1	H11	工事	工事	
中田駅	※1、2	H11	工事	工事	
下飯田駅	※2、4	H11	工事	工事	
新横浜駅	※1、3、4	S61、16	設計	工事	工事
新横浜第2中間	※1	H8	設計	工事	工事
鶴見川第1・第2	※1	S59	設計	工事	工事
長島中間	※1		設計	工事	工事
吉田町中間	※5		工事	工事	
	※3	H8、S61		設計	工事
	※1		工事	工事	
矢沢中間	※1	H11		設計	工事
花咲中間	※1、5	H5		設計	工事
踊場駅	※2	H8		設計	工事
戸塚駅	※2、4	H11		設計	工事

※1:排水ポンプ、※2:汚水ポンプ、※3:中水ポンプ、※4:攪拌機、※5:制御盤

## (2 前年度から変更・見直した点)

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## (4 除却資産の有無)

 有  
 無

## (5 補助対象の有無)

 有  
 無

## (6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費	154,298					
債務負担設定	12,000					

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費	所属: 建築課
目: 05 改良費	担当者名: 横田、田中、三宅、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
設7 排水ポンプほか更新工事(設計)	

## (1 事業目的・内容)

駅には、給水用、汚水用、中水(トイレ洗浄)用、またトンネル勾配に合わせ設置する排水(湧水)用ポンプがあり、各ポンプは設置から10年~40年以上が経過し、ポンプ本体及び配管・付属装置が老朽化しています。排水ポンプの突発的な故障は、湧水の排出ができなくなり列車の運行に支障を来す恐れがあり、また給水、汚水、中水ポンプの故障により、駅機能(主にトイレの使用不可)が低下するため、各ポンプが必要な機能を発揮できる状態に維持するため、ポンプ及び付属装置の更新工事を行います。

場所	対象機器	設置年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
湘南台駅	※1、2	H11	工事	工事	
広町中間	※1	H11	工事	工事	
中田駅	※1、2	H11	工事	工事	
下飯田駅	※2、4	H11	工事	工事	
新横浜駅	※1、3、4	S61、16	設計	工事	工事
新横浜第2中間	※1	H8	設計	工事	工事
鶴見川第1・第2	※1	S59	設計	工事	工事
長島中間	※1		設計	工事	工事
吉田町中間	※5		工事	工事	
	※1、3	H8、S61		設計	工事
矢沢中間	※1	H11		設計	工事
花咲中間	※1、5	H5		設計	工事
踊場駅	※2	H8		設計	工事
戸塚駅	※2、4	H11		設計	工事

※1:排水ポンプ、※2:汚水ポンプ、※3:中水ポンプ、※4:攪拌機、※5:制御盤

## (2 前年度から変更・見直した点)

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## (4 除却資産の有無)

 有  
 無

## (5 補助対象の有無)

 有  
 無

## (6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費	4,840					
債務負担設定						

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 担当者名: 横田、田中、三宅、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
--------	--------

## 設8 排水メーター更新

## (1 事業目的・内容)

駅及び中間ポンプ所の各ポンプ(中水(トイレ洗浄)、排水(湧水)ポンプ)には正確な送水量を計測するため、排水メーター(電磁式積算流量計)が設置されています。(※河川放流をのぞく)排水メーターは計量法により、8年ごとの交換が定められています。法令順守および正確な送水量を計測するため、計画的な交換を行います。

## ■ 排水メーター更新予定

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
施工場所	湘南台駅ほか 13か所 31個	港南区庁舎ほか 3か所 9個	三ツ沢下町駅ほか 4か所 9個

## (2 前年度から変更・見直した点)

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## (4 除却資産の有無)

有  
 無

## (5 補助対象の有無)

有  
 無

## (6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費	22,863					
債務負担設定						



## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担 当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 担当者名: 横田、田中、三宅、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
--------	--------

## 設9 防災設備更新工事(連結送水管)

## (1 事業目的・内容)

地下鉄駅舎間のトンネル内には、火災の発生時に消火活動を行うため、駅間において500mを超える場合に連結送水管が設置されていますが、トンネル内の漏水や経年劣化により配管の損傷が著しい状況です。よって、防災設備の機能維持のため更新工事を行います。

場所名	令和5年度	令和6年度	令和7年度
桜木町駅から花咲中間ポンプ場間	工事	工事	
横浜駅から沢渡中間ポンプ場間	設計	工事	工事
笹下変電所から日野ずい道間		設計	工事

## (2 前年度から変更・見直した点)

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## (4 除却資産の有無)

有  
 無

## (5 補助対象の有無)

有  
 無

## (6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費	84,800					
債務負担設定						

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担 当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 担当者名: 横田、田中、三宅、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
--------	--------

## 設10 防災設備更新工事(連結送水管)(設計)

## (1 事業目的・内容)

地下鉄駅舎間のトンネル内には、火災の発生時に消火活動を行うため、駅間において500mを超える場合に連結送水管が設置されていますが、トンネル内の漏水や経年劣化により配管の損傷が著しい状況です。よって、防災設備の機能維持のため更新工事を行います。

場所名	令和5年度	令和6年度	令和7年度
桜木町駅から花咲中間ポンプ場間	工事	工事	
横浜駅から沢渡中間ポンプ場間	設計	工事	工事
笹下変電所から日野ずい道間		設計	工事

## (2 前年度から変更・見直した点)

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## (4 除却資産の有無)

有  
 無

## (5 補助対象の有無)

有  
 無

## (6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費	3,828					
債務負担設定						

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 担当者名: 横田、田中、三宅、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
--------	--------

## 設11 ずい道換気送風機更新工事

## (1 事業目的・内容)

ずい道換気送風機は、ずい道（トンネル）内に滞留する列車排熱や粉じん等の除去など地下空間の環境を維持するほか、列車火災発生時には排煙設備として、屋外に煙を排出するための設備です。

本設備は、昭和50年のブルーライン横浜・上永谷延伸以降の駅間の換気設備として、9か所の中間換気所とトンネルに接続される25駅に設備され、現在、羽根車やケーシング等本体の腐食、またモーター及び軸受けの消耗により絶縁が低下傾向にあるなど老朽化が進んでいます。

良好な地下空間の環境を維持し、確実な排煙機能を確保するため更新工事を行います。

		R4	R5	R6	備考
設 計	対象	高島町駅	横浜駅	岸根中間	
	台数・総出力	8台・282kW	5台・175kW	4台・148kW	
工 事	対象	新横浜中間換気所	高島町駅	横浜駅	高島町駅：R5-R6工事
	更新内容	部分更新	部分更新	部分更新	

## (2 前年度から変更・見直した点)

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## (4 除却資産の有無)

有  
 無

## (5 補助対象の有無)

有  
 無

## (6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費	159,777					
債務負担設定						

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目		担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費		所属: 建築課
目: 05 改良費		担当者名: 横田、田中、三宅、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
--------	--------

## 設12 ずい道換気送風機更新工事(設計)

## (1 事業目的・内容)

ずい道換気送風機は、ずい道（トンネル）内に滞留する列車排熱や粉じん等の除去など地下空間の環境を維持するほか、列車火災発生時には排煙設備として、屋外に煙を排出するための設備です。

本設備は、昭和50年のブルーライン横浜・上永谷延伸以降の駅間の換気設備として、9か所の中間換気所とトンネルに接続される25駅に設備され、現在、羽根車やケーシング等本体の腐食、またモーター及び軸受けの消耗により絶縁が低下傾向にあるなど老朽化が進んでいます。

良好な地下空間の環境を維持し、確実な排煙機能を確保するため更新工事の設計を行います。

		R4	R5	R6	備考
設計	対象	高島町駅	横浜駅	岸根中間	
	台数・総出力	8台・282kW	5台・175kW	4台・148kW	
工事	対象	新横浜中間換気所	高島町駅	横浜駅	高島町駅：R5-R6工事
	更新内容	部分更新	部分更新	部分更新	

## (2 前年度から変更・見直した点)

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## (4 除却資産の有無)

有  
 無

## (5 補助対象の有無)

有  
 無

## (6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費	8,298					
債務負担設定						

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担 当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 担当者名: 横田、田中、三宅、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
--------	--------

## 設13 エアフィルター更新工事

## (1 事業目的・内容)

地下駅には、良好な駅環境を維持するため、外気取り入れ口にエアフィルター設備を設置しています。エアフィルター設備は、設置から長期間、使用しつづけ、著しい汚れの付着による目詰まりが頻繁に発生し、捕集した粉じん等を取り除く真空掃除機に負荷に係りモーター不良や捕集口の脱落故障につながり、都度修理を重ねている状況です。

現在、低下してきている捕集性能を改善し、良好な駅環境を維持するため、計画的な更新を行います。

		R4	R5	R6
設 計	1号線	-	湘南台、矢沢中間	/
	3号線	桜木町、下町、あざみ野	-	/
工 事	1号線	あざみ野	/	湘南台、矢沢中間
	3号線	-	/	-

## (2 前年度から変更・見直した点)

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## (4 除却資産の有無)

有  
 無

## (5 補助対象の有無)

有  
 無

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費	所属: 建築課
目: 05 改良費	担当者名: 横田、田中、三宅、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
設14 空調機更新工事	

## (1 事業目的・内容)

駅などの空調は、事務室・仮眠室・券売機室・電気諸室といった使用用途によってゾーンニングしており、各系統ごと施設の規模や特性に見合う空調方式にて冷暖房装置を設置しています。設置から15年以上を経過し、冷暖房能力が低下している空調機が点在しています。

また、平成14年以前に設置した空調機の大半は、冷媒に指定フロンR22が使用されています。指定フロンは、オゾン層の保護および地球温暖化防止対策を目的に令和2年から生産全廃となっており、補充用冷媒の確保も困難な状況になるため、指定フロンから代替フロンへの機器更新が不可欠となります。これらのことから施設単位での空調機の計画的な更新工事を行います。

## ■ 空調機更新計画

場所	設置年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
新羽車両基地(主配電盤室・電源室)、片倉町		工事(R4・5)		
新羽車両基地(総合司令所)、日吉本町		工事		
新羽車両基地(データ集計室・会議室)	平成5年	工事		
安全教育センター	平成12年	工事		
三ツ沢下町(横浜方)	平成14年	工事		
岸根公園・三ツ沢上町	平成15年		工事	
港南中央・上永谷保守管 ※		工事		
新羽(乗管舎)・上永谷信号扱所・新羽保守管(信号扱所・司令所舎) ※		設計	工事	
舞岡	平成14年	設計	工事	
高島町	平成16年			
高田	平成19年			
川和町	平成19年		設計	工事
踊場(排気改善)				

## (2 前年度から変更・見直した点)

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## (4 除却資産の有無)

有  
 無

## (5 補助対象の有無)

有  
 無

## (6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費	所属: 建築課
目: 05 改良費	担当者名: 横田、田中、三宅、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
設15 空調機更新工事(設計)	

## (1 事業目的・内容)

駅などの空調は、事務室・仮眠室・券売機室・電気諸室といった使用用途によってゾーンニングしており、各系統ごと施設の規模や特性に見合う空調方式にて冷暖房装置を設置しています。設置から15年以上を経過し、冷暖房能力が低下している空調機が点在しています。

また、平成14年以前に設置した空調機の大半は、冷媒に指定フロンR22が使用されています。指定フロンは、オゾン層の保護および地球温暖化防止対策を目的に令和2年から生産全廃となっており、補充用冷媒の確保も困難な状況になるため、指定フロンから代替フロンへの機器更新が不可欠となります。これらのことから施設単位での空調機の計画的な更新工事を行います。

## ■ 空調機更新計画

場所	設置年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
新羽車両基地(主配電盤室・電源室)、片倉町		工事(R4・5)		
新羽車両基地(総合司令所)、日吉本町		工事		
新羽車両基地(データ集計室・会議室)	平成5年	工事		
安全教育センター	平成12年	工事		
三ツ沢下町(横浜方)	平成14年	工事		
岸根公園・三ツ沢上町	平成15年		工事	
港南中央・上永谷保守管 ※		工事		
新羽(乗管舎)・上永谷信号扱所・新羽保守管(信号扱所・司令所舎) ※		設計	工事	
舞岡	平成14年	設計	工事	
高島町	平成16年			
高田	平成19年			
川和町	平成19年		設計	工事
踊場(排気改善)				

## (2 前年度から変更・見直した点)

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## (4 除却資産の有無)

有  
 無

## (5 補助対象の有無)

有  
 無

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 担当者名: 横田、田中、三宅、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
設16 駅冷房空調機更新工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

駅施設の快適性の向上及びお客様満足の向上を図るため、ホーム冷房を整備しています。これまで、通常の保守点検では分解点検できない密閉箇所(圧縮機等)を定期的に分解整備し、延命・性能回復を図ってきましたが、現在の設備は設置から20年を超え、性能効率の低下が見受けられ、今後、大きな故障の際には部品調達から整備まで長期間の設備停止に陥る恐れがある稼働状況です。空調設備の老朽化に伴い装置の停止によるお客様サービスの低下を防ぐため、計画的な更新設計を行います。また、二次側の送風装置(エアハンドリングユニット)は設置当初から稼働し続けたものであるため、熱源に合わせ更新の実施を検討していきます。

号線	駅	設置年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
4	日吉	平成20年	改修計画	修繕		駅空調更新に合わせ計画(設計~工事)
1	湘南台	平成11年		基本・実施設計	R7・8工事	※中間期に工事
3	横浜	平成10年		基本・実施設計	R7・8工事	※中間期に工事

設置年度	H8	H9	H10	H11	H20	H24	H26
駅冷房設備設置駅	上大岡 改良工事 ~R5年度	新横浜 改良工事 ~R5年度	横浜	湘南台 戸塚 関内	中山 日吉	あざみ野 (スポット)	桜木町 (スポット)

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有  
 無

(5 補助対象の有無)

有  
 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費	10,450					
債務負担設定						



## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 担当者名: 横田、田中、三宅、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
設17 給湯設備更新工事	

## (1 事業目的・内容)

現在設置されている浴室用給湯設備は、一般的な耐用年数である15年を越え、稼働から20年を迎えるものもあり、設備の劣化が進行しています。製造から長期間経過する機器は、給湯器メーカーの在庫保有も少なくなり、故障時の修理・整備に時間を要することになるため、劣化の著しい機器を優先し計画的な更新を行い各駅の給湯機能を確保するため更新工事を行います。

		R5	R6	R7	R8	R9
設計	給湯	川和車両基地総合棟、保守区棟、上永谷車両基地修繕工場、検車区、上永谷駅	新羽車両基地	-	-	-
工事	給湯	-	川和車両基地総合棟(2)、保守区棟(1)、洗浄線(1)	川和車両基地総合棟(2)、保守区棟(1)、洗浄線(1)	新羽、上永谷車両基地修繕工場(2)、検車区(1)、上永谷駅(1)	新羽、上永谷車両基地修繕工場(2)、検車区(1)、上永谷駅(1)

【川和車両基地総合事務所棟給湯器】



## (2 前年度から変更・見直した点)

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## (4 除却資産の有無)

有  
 無

## (5 補助対象の有無)

有  
 無

## (6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担 当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 担当者名: 横田、田中、三宅、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
設18 給湯設備更新工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

現在設置されている浴室用給湯設備は、一般的な耐用年数である15年を稼働から20年を迎えるものもあり、設備の劣化が進行しています。製造から長期間経過する機器は、給湯器メーカーの在庫保有も少なくなり、故障時の修理・整備に時間を要することになるため、劣化の著しい機器を優先し計画的な更新を行い各駅の給湯機能を確保するため更新工事の設計を行います。

		R5	R6	R7	R8	R9
設 計	給湯	川和車両基地総合棟、保守区棟、上永谷車両基地修繕工場、検車区、上永谷駅	新羽車両基地	-	-	-
工 事	給湯	-	川和車両基地総合棟(2)、保守区棟(1)、洗浄線(1)	川和車両基地総合棟(2)、保守区棟(1)、洗浄線(1)	新羽、上永谷車両基地修繕工場(2)、検車区(1)、上永谷駅(1)	新羽、上永谷車両基地修繕工場(2)、検車区(1)、上永谷駅(1)

【既設給湯ボイラー】



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有  
 無

(5 補助対象の有無)

有  
 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事 業 費	6.743					
債務負担設定						

令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担 当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 担当者名: 横田、田中、三宅、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
設19 気象観測装置更新工事	

(1 事業目的・内容)

気象観測装置は、市営地下鉄風水害対策設備のひとつであり、地震・風向風速・雨量及び温湿度の計測をリアルタイムで行っています。異常気象時には、運行を司る総合司令部へ警報を出力し、地下鉄の安全運行を確保する重要な役割を担っています。当該設備は、感震器、発信器、変換器、制御盤といった主要機器を中心に構成され、制御・演算システムは、メーカー独自の技術が蓄積された設備となっています。現在は、メーカーの耐用年数が経過しており、不具合が所が発生しています。よって、更新工事を行います。

駅名	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	備考
総合司令部・川和町駅	工事	工事				
下飯田駅		工事	工事			
新羽駅			工事	工事		
上永谷駅				工事	工事	
中川駅					工事	

※ 各駅更新機器:風向風速計、地震計、雨量計、温湿度計、変換器、制御盤

(2 前年度から変更・見直した点)



(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有  
 無

(5 補助対象の有無)

有  
 無

(6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: 建築課 担当者名: 横田、田中、三宅、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	6年度予算額
--------	--------

## 設20 除害施設更新工事

## (1 事業目的・内容)

上永谷車両基地修繕工場及び検車区、新羽車両基地にある除害施設は鉄道車体及び台車洗浄後の排水を下水に流せるよう微細なゴミを取り除き、化学的に中和させています。除害施設は設置から30年以上が経過し、老朽化が進んでいます。修理を行いながら運用してきましたが、交換修理をするための部品の入手性も悪くなっていることから、更新を行います。

R6-R7年度に新羽車両基地、R7-R8年度に上永谷車両基地上永谷検車区、R8-R9年度に上永谷車両基地修繕工場の除害施設をそれぞれ更新します。

	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
新羽車両基地	設計	発注・工事			
上永谷車両基地 上永谷検車区	設計		発注・工事		
上永谷車両基地 修繕工場	設計			発注・工事	

## (2 前年度から変更・見直した点)

## (3 根拠法令・規程、現場の意見等)

## (4 除却資産の有無)

有  
 無

## (5 補助対象の有無)

有  
 無

## (6 年次表)

	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

## 令和6年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建設改良課 担当者名：岡田

(単位：千円)

	6年度 A	5年度 B	増△減(A-B)
予算額		335,955	

(単位：千円)

【事業内容】	6年度予算額																					
1 ブルーライン新横浜駅の駅施設整備																						
<p>(1 事業目的・内容) 新横浜駅では、中央改札の新設に伴う駅施設のスペース不足や配置駅務職員の増加、将来的な女性職員の比率増加に対応するために必要な駅施設の整備を進めます。</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>(4 除却資産の有無) <span style="margin-left: 200px;">(5 補助対象の有無)</span></p> <p><input type="checkbox"/> 有 <span style="margin-left: 150px;"><input type="checkbox"/> 有</span>  <input checked="" type="checkbox"/> 無 <span style="margin-left: 150px;"><input checked="" type="checkbox"/> 無</span></p> <p>(6 年次表)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>5年度予算</th> <th>6年度予算</th> <th>7年度予定</th> <th>8年度予定</th> <th>9年度以降</th> <th>総額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>債務負担設定</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額	事業費							債務負担設定						
	5年度予算	6年度予算	7年度予定	8年度予定	9年度以降	総額																
事業費																						
債務負担設定																						

## 令和6年度 総係費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 01 建設費	所属: 技術管理部・工務部各課 担当者名: 経営管理部 経営管理課

(単位:千円)

	6年度 A	5年度 B	増△減 A - B
予算額	36,995	36,945	50

## 【積算内容】

## (1 科目別積算内容)

細節別科目名	積算額	積算項目
49 備用品費	2,045	図書購入、事務用品、ヘルメット等
50 被服費	4,158	新規採用者、転入・異動者等への制服貸与
56 旅費	7,533	市内・市外出張旅費、検査出張旅費等
57 通信運搬費	5	切手代
60 負担金	6,618	協議会等年会費、土木積算システム負担金等
63 委託料	13,195	メール便委託等
64 手数料	2,008	各種資格試験受験料、技術講習会受講料等
65 賃借料	1,193	営業積算システム利用料、会議室利用料等
96 雑費	240	タクシー借上げ代等
合 計	36,995	

## (2 編成するにあたっての考え方)

## (3 新規項目・主要事業等)